

## 上板橋第一中学校及び志村小学校・志村第四中学校小中一貫型学校の 改築基本設計の策定について

「いたばし魅力ある学校づくりプラン」前期計画第2期対象校である上板橋第一中学校については昭和36年に建築されており、前期計画第2期計画のなかで施設の老朽化への対応や校地面積、児童・生徒数推計などを基に検討が行われた結果、改築として整備を進めていくこととなった。

また、同じく「いたばし魅力ある学校づくりプラン」前期計画第2期対象校である志村小学校については、現在地での改築が困難であることから、小中一貫教育推進の視点を取り入れ、志村小学校と志村第四中学校を施設一体の小中一貫型の学校として、志村四中学校の敷地に整備を進めていくこととなった。

令和4年7月に策定された基本構想・基本計画を踏まえて、計画目標や概要を明確・具体化した基本設計をまとめたので報告する。今後は、工事発注に向けて申請業務や工事発注図面作成を行うための実施設計を進める。

### 添付資料

- 上板橋第一中学校の改築基本設計の策定について【説明資料】・・・別紙1
- 区立上板橋第一中学校改築 基本設計図書・・・別紙2
- 志村小学校・志村第四中学校小中一貫型学校の改築基本設計の策定について【説明資料】  
・・・別紙3
- 区立志村小学校・区立志村第四中学校 小中一貫型学校改築 基本設計図書・・・別紙4

## 上板橋第一中学校の改築基本設計の策定について【説明資料】

「いたばし魅力ある学校づくりプラン」前期計画第2期対象校である上板橋第一中学校については昭和36年に建築されており、前期計画第2期計画のなかで施設の老朽化への対応や校地面積、児童・生徒数推計などを基に検討が行われた結果、改築として整備を進めていくこととなった。

整備事業を進める上での基本的な考え方や指針を示した基本構想・基本計画を令和4年7月に策定し、その後、委託事業者の協力を受け、設計を進めていた。この度、基本設計図書をまとめたので報告する。

### 1 設計コンセプト

#### 1 地域の核となる学校の顔づくり

##### ●桜並木の背景と端正な校舎

石神井川と環状七号線、東武東上線に隣接する立地であることから、地域の顔となるような形状や外装が端正な校舎を創出

##### ●線路沿いの防犯性を考慮した、人気（ひとけ）の漏れ出す校舎表情

東武東上線と体育館との道路に人気（ひとけ）がないことから、地域からの要望により、防犯性を考慮した校舎の外装や照明配置を計画

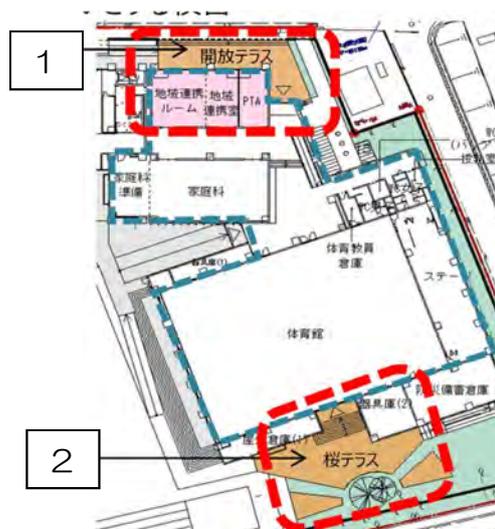


#### 2 地域と連携する学校

##### ●地域活動を街のにぎわいとする校舎

① 環状七号線側の「開放テラス」と「地域連携ルーム」「地域連携室」「PTA室」を隣接させ、地域が災害時に活用できるように配置

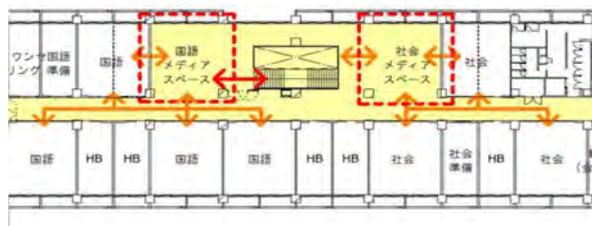
② 石神井川沿いの桜を楽しむ「桜テラス」を配置



### 3 教科センター方式を深化させる校舎

#### ●階段移動中に自然に接する教科メディアセンタースペース

日常的に教科の情報に触れることができるように、生徒の日常動線となる階段付近に教科メディアスペースを配置



#### ●学びの中心となるメディアセンター

本棚スペースと学習スペース（PC室）を一体化したメディアセンターを計画し、調べ学習等に対応できるようなスペースを計画  
また、2階の中央階段近くに配置し、3階からもアクセスできるようにすることで、下校時に立ち寄りやすく、授業以外でも生徒が利用しやすい親しみのある図書空間を創出



(吹き抜けのある明るい空間)

### 4 活動を発信するデジタルサイネージ

#### ●移動中に目に入るデジタルサイネージの設置

教科センター方式の時間割や部活動の情報、学校活動の風景等を表示  
ディスプレイは、生徒の移動中に目に入りやすいように1階の昇降口と2～4階の各階廊下に設置

1階の昇降口に設置するディスプレイには学校を地域へアピールできる情報を表示



### 5 インクルーシブやジェンダーに配慮した学校

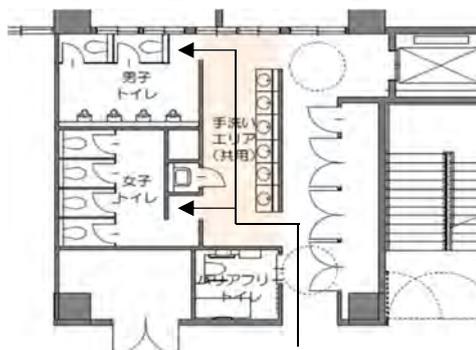
#### ●特別支援学級と通常学級が同じフロアで学ぶ校舎

インクルーシブの視点から、特別支援学級を2階に配置し、特別支援学級の生徒が通常学級の生徒とともに学ぶ空間を創出



#### ●オールジェンダーに配慮したトイレ

廊下から直接、男女別のトイレやバリアフリートイレに入るのではなく、男女共同の手洗いエリアを介して各トイレに入出入りすることでジェンダーに配慮したトイレを計画



## 6 環境性能を高めた校舎

- 生徒が快適に過ごせる、断熱性や遮熱性を高めた校舎

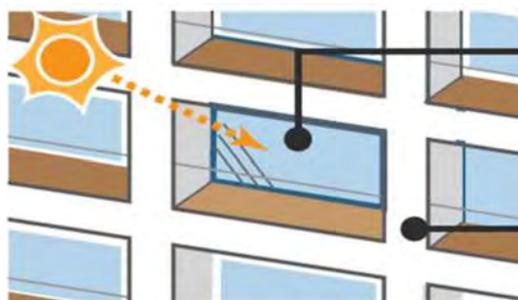
校舎内への日射を削減するため、開口部にLOW-E複層ガラス、建築構造にアウトフレーム・バルコニーを採用

- 設備の高効率化で消費エネルギーを削減

全熱交換器<sup>(※)</sup>やLED照明等の高効率設備を採用し、建物の省エネルギー化を実施

※排気時に捨ててしまう室内の熱を回収して、給気してきた空気に戻す設備。換気による温度変化を抑えることにより、エアコンの負荷の軽減につながる。

- 従来の建物で必要なエネルギーを40%削減する、ZEB Oriented以上の実現



## 2 建築計画概要

### 1) 計画規模

| 名称   | 校舎                       | 体育館                     | 屋外倉庫棟                | 合計                      |
|------|--------------------------|-------------------------|----------------------|-------------------------|
| 高さ   | 22.0m                    | 12.1m                   | 3.5m                 |                         |
| 階数   | 5                        | 1                       | 平屋                   |                         |
| 耐火性能 | 耐火構造                     |                         |                      |                         |
| 構造種別 | 鉄筋コンクリート造                | 柱・壁：鉄筋コンクリート造<br>屋根：鉄骨造 | 鉄筋コンクリート造            |                         |
| 基礎   | 既成コンクリート造                |                         | 地盤改良                 |                         |
| 敷地面積 | 12,447.19 m <sup>2</sup> |                         |                      |                         |
| 建築面積 | 2,652.09 m <sup>2</sup>  | 1,182.56 m <sup>2</sup> | 47.60 m <sup>2</sup> | 3882.25 m <sup>2</sup>  |
| 建ぺい率 | 31.2%                    |                         |                      |                         |
| 床面積  | 9,340.76 m <sup>2</sup>  | 1,231.09 m <sup>2</sup> | 47.60 m <sup>2</sup> | 10619.45 m <sup>2</sup> |
| 容積率  | 83.2%                    |                         |                      |                         |

※今後の検討等により、数値に変更が生じる可能性があります。

### 2) 配置計画の考え方

- 正門は既存と同じ北側に配置し、地域用の門についても北側に配置
- 車両動線を西側に計画し、生徒の動線と歩車分離を図ることで安全性に配慮
- 敷地西側は自主管理歩道を整備し、安全な歩行空間を確保
- 門を設置する敷地北側は、道路からセットバックを行い安全な通学路を整備
- 南側と南西側にも避難用管理扉を設置

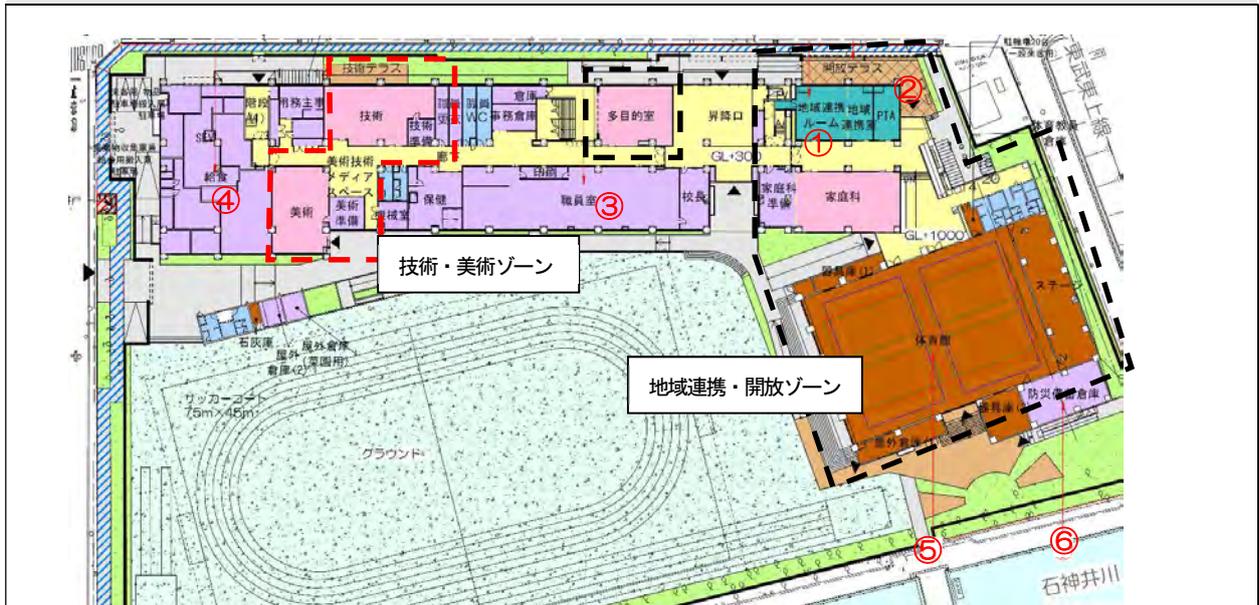


### 3 平面計画

#### 平面計画の考え方

フレキシビリティに配慮し、教科センター方式の特色を活かした平面計画

#### 【1階】昇降口、職員室、体育館、家庭科室、技術室、美術室、給食室、地域連携諸室



- ①【地域開放諸室】 東側にまとめ、生徒と地域開放との動線を分離
- ②【地域開放テラス】 環状七号線沿いに配置し、地域拠点とする
- ③【職員室】 グラウンドに面し、昇降口にも近接
- ④【給食室】 西側に配置し、搬入動線に配慮
- ⑤【体育館】 地域開放や災害時の避難所を想定
- ⑥【備蓄倉庫】 搬入経路も確保しつつ、災害時を想定して体育館を隣接

#### 【2階】英語・特別支援学級・メディアセンター



- ①【教科教室、HB】 英語教室5、HB5
- ②【メディアスペース】 教科との一体利用や、生徒の居場所として活用
- ③【メディアセンター】 校舎の中心とし、大階段に面して配置
- ④【特別支援学級（固定）】 中央にオープンスペースを配置、インクルーシブ教育に配慮し、通常学級と同フロアへ
- ⑤【武道場】 東武東上線側に配置することで、近隣への騒音に配慮

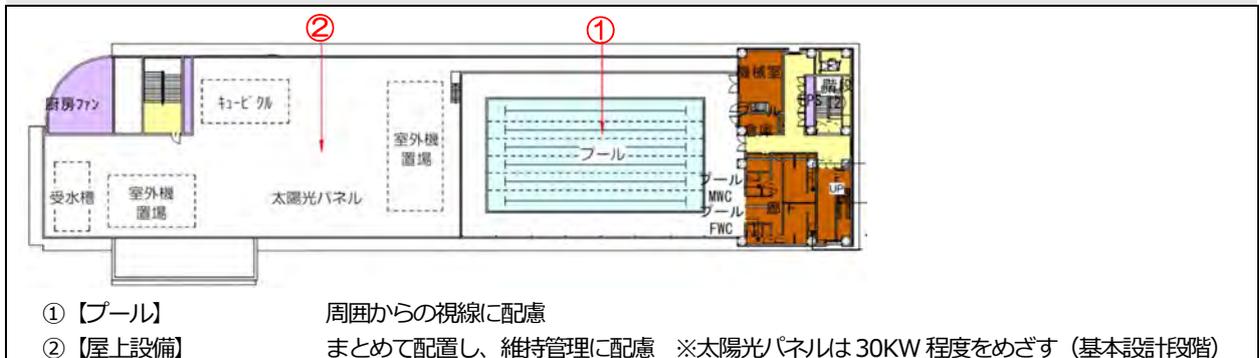
### 【3階】 数学・理科



### 【4階】 国語・社会、音楽室、特別支援教室



### 【5階】 プール



## 4 立面計画

### 立面計画の考え方

#### 【校舎部分】

- 柱・梁・壁を活用することで効率的に日射削減するファサード
- 校舎南北面は単調で、長大な壁とならないよう、半コマごとに壁を設置して分節化、再生木や緑のカーテンにより周辺環境に調和した計画
- 規模の大きい体育館や武道場は、校舎部分と壁面を分節することにより近隣への圧迫感を低減した計画

#### 【体育館部分】

- 開口部やリブのある壁面等、意匠を変えることでボリューム感を低減し、周辺環境に調和した計画
- 東側道路の防犯性に配慮し、ステージ側に開口部を計画
- 石神井川沿いが景観形成重点地区であることから、色彩は桜並木の緑や石神井川の水の色彩と調和した落ち着いた色のある計画

校舎・北側立面（環状七号線側）



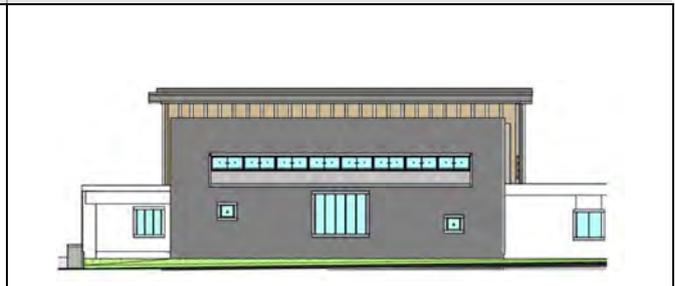
校舎・南側立面（グラウンド側）



校舎・西側立面（環状七号線側）



体育館・南側立面（東武東上線側）



## 5 工事工程表

| 年度          | R5        | R6 | R7                | R8 | R9    |
|-------------|-----------|----|-------------------|----|-------|
| 解体工事        | 着工        |    |                   |    | 工事完了  |
| 建設工事        |           |    |                   | 引越 | 新校舎利用 |
| 工事中<br>学校運営 | 現校舎<br>引越 |    | 上板橋第二中学校<br>旧校舎利用 |    |       |

区立上板橋第一中学校改築 基本設計図書

---

令和5年4月

安井建築設計事務所



### 地域の核となる学校の顔づくり

- ・桜並木の背景となる端正な校舎
- ・線路沿いの防犯性を考慮した、人気の漏れ出す校舎表情

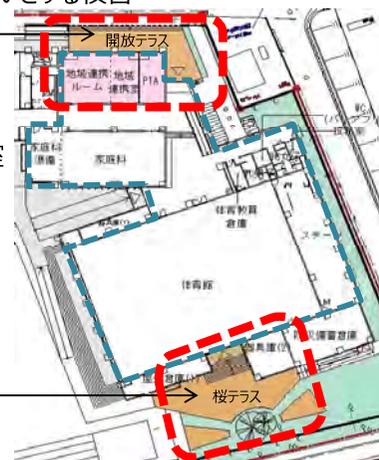


### 地域と連携する学校

- ・地域活動を街のにぎわいとする校舎

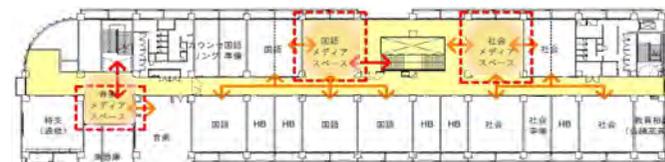
- ・災害時の活動にも活用できる「開放テラス」+連携諸室

- ・石神井川沿いの桜を楽しむ「桜テラス」



### 教科センター方式を深化させる校舎

- ・階段移動中に自然に接する教科メディアスペース
- ・学びの中心となるメディアセンター



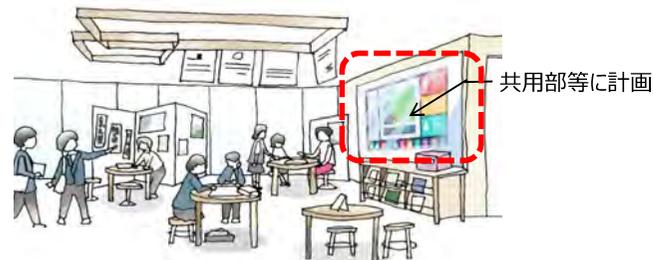
メディアスペース

メディアセンターイメージ  
吹抜けにより開放的で、上階とつながった学びの中心となるメディアセンター



### 活動を発信するデジタルサイネージ

- ・移動中に目に入るデジタルサイネージの設置



共用部等に計画

- ・時間割や学習内容、学校活動の写真等を表示



給食メニュー



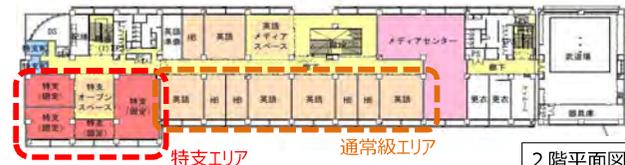
運動会



卒業メッセージ

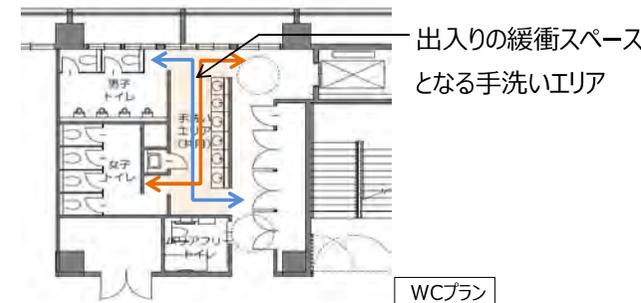
### インクルーシブやジェンダーに配慮した校舎

- ・特支と通常級が同じフロアで学ぶ校舎



2階平面図

- ・オールジェンダーに配慮したトイレ



WCプラン

出入りの緩衝スペースとなる手洗いエリア

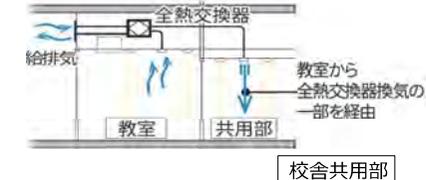
### 環境性能を高めた校舎

- ・快適に過ごせる、断熱性や遮熱性を高めた校舎

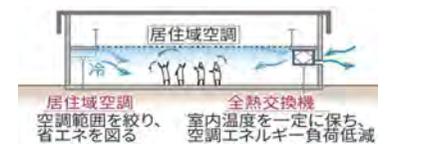


65%削減

- ・設備の高効率化で消費エネルギーを削減

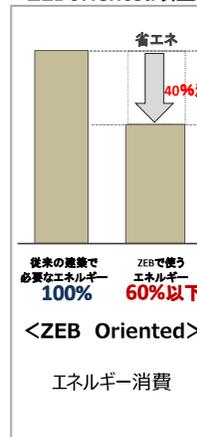


校舎共用部



体育館

ZEB化  
ZEBoriented以上



<ZEB Oriented>

エネルギー消費

ZEB化イメージ

### 1 敷地概要

- (1) 敷地所在地 東京都板橋区南常盤台1丁目1番1号
- (2) 敷地面積 12,447.19㎡ (測量図より)
- (3) 用途地域 北側：近隣商業地域 南側：第一種住居地域
- (4) 防火地域 北側：防火地域 南側：準防火地域 (新たな防火規制区域適用)
- (5) その他地域地区 北側：第三種高度地区、最高限度35m、最低限度7m  
南側：第三種高度地区、最高限度35m
- (6) 建ぺい率 北側：80% 南側：60%
- (7) 容積率 北側：300% 南側：300%
- (8) 日影 北側：5h,3h/4m 南側：4h,2.5h/4m
- (9) 前面道路 北側：公道 認定幅員25m (建築基準法42条1項1号道路)  
南側：公道 認定幅員4m (建築基準法42条1項1号道路)  
東側：公道 認定幅員4m (建築基準法42条1項1号道路)  
西側：公道 認定幅員6m (建築基準法42条1項1号道路)

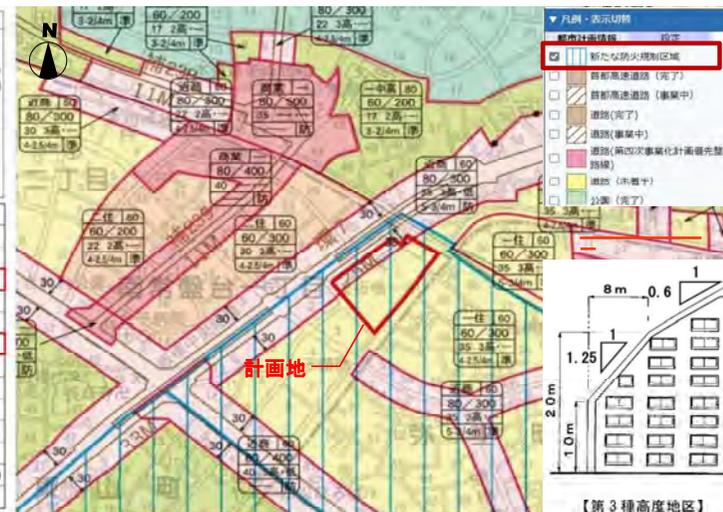
### 2 航空写真



計画地

### 3 用途地域/高度地区

| 用途地域 | 規制内容              |
|------|-------------------|
| 一低   | 第一種低層住居専用地域       |
| 一中高  | 第一種中高層住居専用地域      |
| 二中高  | 第二種中高層住居専用地域      |
| 一住   | 第一種住居地域           |
| 二住   | 第二種住居地域           |
| 準住   | 準住居地域             |
| 近西   | 近隣商業地域            |
| 商業   | 商業地域              |
| 準工・特 | 準工業地域(第二種特別工業地区)  |
| 準工業  | 準工業地域             |
| 工業・特 | 工業地域(第一種特別工業地区)   |
| 工業・準 | 工業地域(都市型産業育成地区)   |
| 工業・準 | 工業専用地域(都市型産業育成地区) |
| 工業   | 工業専用地域            |



※高度地区制限は真北に道路がある場合は、前面道路反対側の境界線からかかる。

### 4 都市計画道路/地区計画

| 表示項目           | 関係法令                               |
|----------------|------------------------------------|
| 道路(完了)         | 都市計画法第11条第1項第1号                    |
| 緑地             | 都市計画法第11条第1項第2号                    |
| 沿道地区計画         | 都市計画法第12条第4項(沿道4m) 東京都の沿道の整備に関する条例 |
| 景観形成重点地区       | 景観法(景観法第11条)                       |
| 板橋区全域(重点地区を除く) | 一般地域                               |





板橋区立上板橋第一中学校改築工事 基本設計

敷地現況 (現地写真)

共通

用途 中学校  
 工事種別 新築  
 敷地面積 12447.19㎡ (測量図より)  
 建ぺい率 北側80% 南側60%  
 容積率 北側300% 南側300%

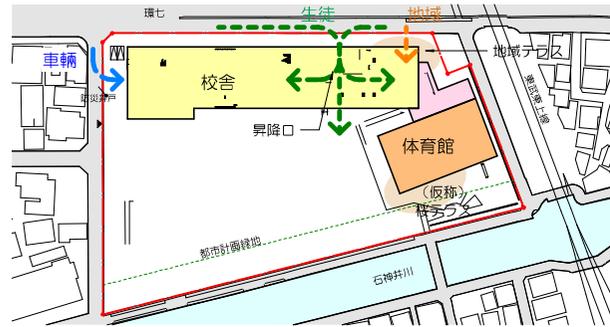
| 棟名        | 校舎棟                          |                              |           | 屋外倉庫棟                      | 合計                |
|-----------|------------------------------|------------------------------|-----------|----------------------------|-------------------|
|           | (校舎)                         | (体育館)                        | 計         |                            |                   |
| 高さ        | 22.0m                        | 12.1m                        |           | 3.5m                       |                   |
| 階数        | 地上5階/地下なし                    | 地上1階/地下なし                    |           | 平屋建/地下なし                   |                   |
| 耐火構造の種類   | 耐火構造                         | 耐火構造                         |           | 耐火構造                       |                   |
| 構造        | 鉄筋コンクリート造                    | 柱、外壁-鉄筋コンクリート造<br>屋根-鉄骨造     |           | 鉄筋コンクリート造                  |                   |
| 基礎        | 既製コンクリート杭                    | 既製コンクリート杭                    |           | 地盤改良                       |                   |
| 屋根        | RC+アスファルト断熱防水<br>+押えコンクリート   | デッキプレート+断熱複合板<br>+シート防水      |           | RC+アスファルト断熱防水<br>+押えコンクリート |                   |
| 外壁        | 打放し+複層塗材                     | 打放し+複層塗材                     |           | 打放し+複層塗材                   |                   |
| 開口部       | アルミサッシ (B-2仕上)<br>LowE 複層ガラス | アルミサッシ (B-2仕上)<br>LowE 複層ガラス |           | スチールSOP                    |                   |
| 建築面積      | 2,652.09                     | 1,182.56                     | 3,834.65  | 47.60                      | <b>3,882.25㎡</b>  |
| 建ぺい率      |                              |                              |           |                            | 31.2%             |
| 床面積       |                              |                              |           |                            |                   |
| 5階        | 413.24                       |                              | 413.24    |                            |                   |
| 4階        | 2,016.27                     |                              | 2,016.27  |                            |                   |
| 3階        | 1,923.46                     |                              | 1,923.46  |                            |                   |
| 2階        | 2,358.44                     |                              | 2,358.44  |                            |                   |
| 1階        | 2,629.35                     | 1,231.09                     | 3,860.44  | 47.60                      |                   |
| 棟別計       | <b>9,340.76</b>              | <b>1,231.09</b>              | 10,571.85 | <b>47.60</b>               | <b>10,619.45㎡</b> |
| うち駐車場等の面積 | 0.00                         | 0.00                         |           | 0.00                       |                   |
| 容積対象面積    | 9,340.76                     | 1,231.09                     |           | 47.60                      | <b>10,619.45㎡</b> |
| 容積率       |                              |                              |           |                            | 83.2%             |

(1) グラウンドの確保と、地域連携や周辺の景観に配慮した配置  
 <校舎を北側、体育館棟を東側、地域開放エリアを北東にゾーニング>

- ・既存校舎同様に北側に校舎を配置し、環状七号線側に学校生活を発信できる顔づくり
- ・東武東上線の騒音・振動対策として、体育館棟は東側に配置
- ・中廊下式として校舎棟の奥行きを小さくすることで整形なグラウンドを確保
- ・体育館棟等の開放エリアとともに地域テラスを設けることで地域連携の場を創出
- ・来客や搬入等の車両動線を西側に計画し、生徒の動線と歩車分離を図り、安全性に配慮
- ・南側の石神井川沿いの桜の景観を保存し、その景色を楽しむ(仮称)桜テラスを整備
- ・体育館棟を都市計画緑地区域外として構造種別の自由度を確保

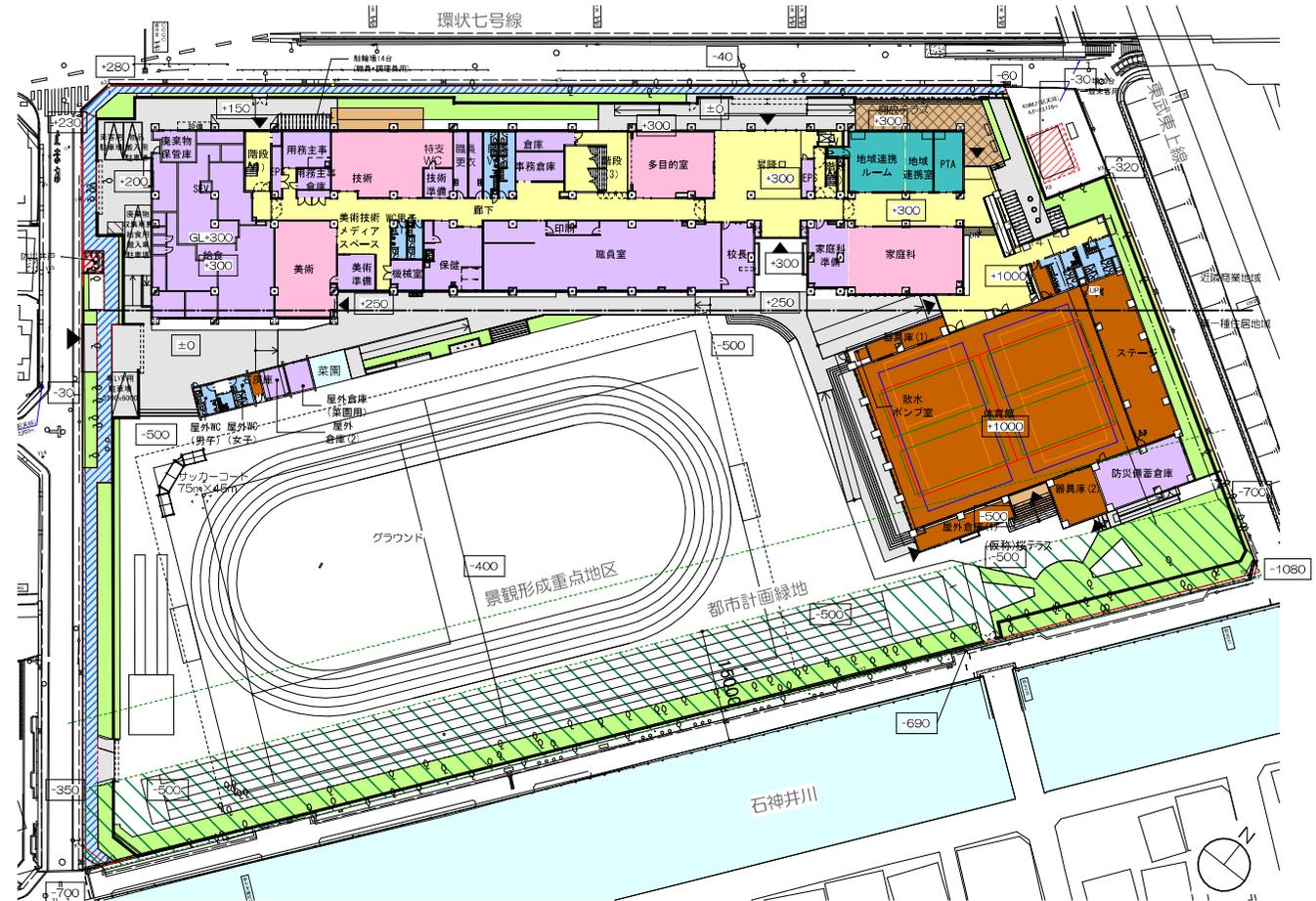
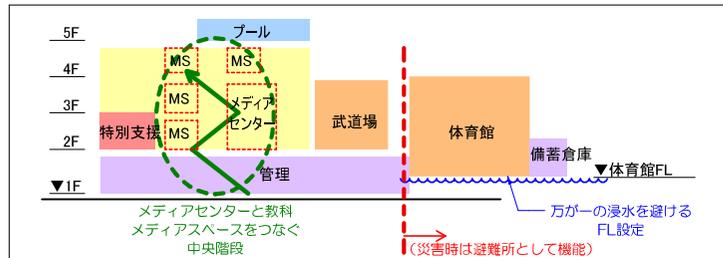
(3) 通学の安全性や周辺景観に配慮した敷地周囲の道路の整備

- ・車両動線となる敷地西側は、自主管理歩道を整備し安全な歩行空間を確保
- ・正門を設置する敷地北側は、道路からセットバックを行い安全な通学路を整備
- ・敷地外周部の既存樹は一部保存し、歩道沿いに植栽帯を設け緑の景観を継承する

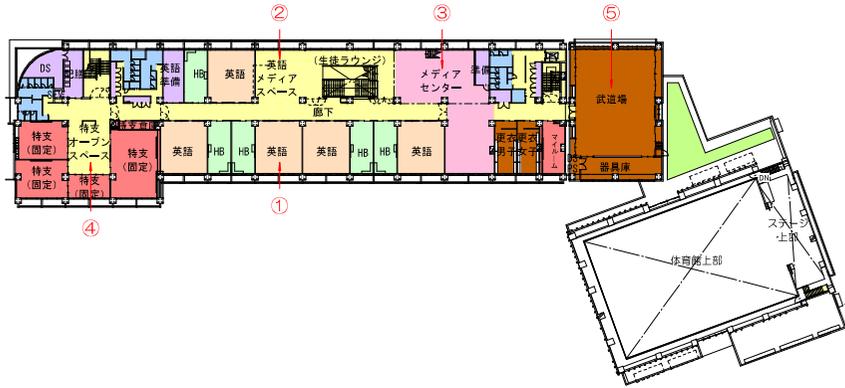


(2) 学びと交流を育む学校、災害に強く安心安全な施設

- ・昇降口・地域連携エリアに目が届きやすい校務エリア
- ・メディアセンターと各教科のメディアスペースが一体となった生徒の興味や自主的な学びを促す中央階段
- ・災害時、体育館の避難所機能と並行して校舎棟での授業継続が可能な施設構成
- ・地域の備蓄倉庫と避難所機能を持つ体育館は、万が一の浸水も避けられるレベルに設定



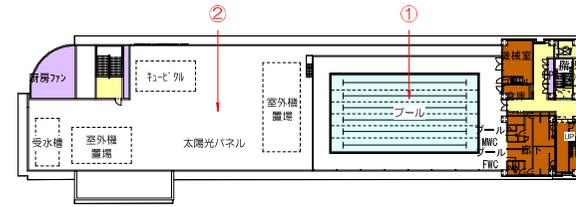
フレキシビリティに配慮し、教科センター方式の特色を活かした平面計画



2F 平面図

【2F】

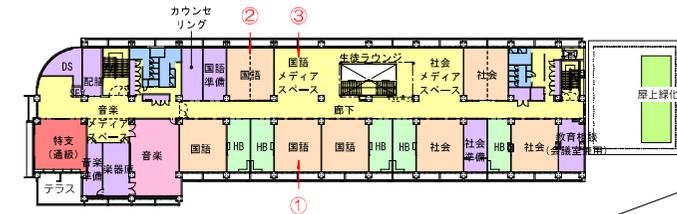
- ①教科教室、HB  
採光と通風を確保
- ②メディアスペース  
教室との一体的利用や、生徒の居場所として活用
- ③メディアセンター  
大階段に面した校舎中央に配置
- ④特別支援  
中央にオープンスペースを配置  
インクルーシブ教育に配慮し、通常学級と同フロアへ
- ⑤武道場  
近隣への騒音に配慮



5F 平面図

【5F】

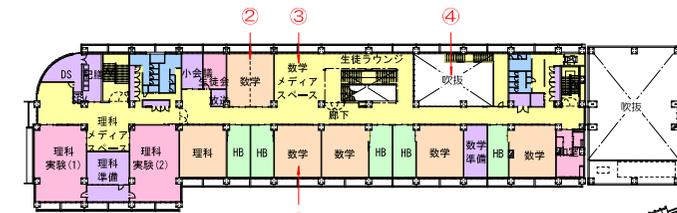
- ①プール  
周田からの視線に配慮
- ②屋上設備  
まとめて配置し、維持管理に配慮



4F 平面図

【4F】

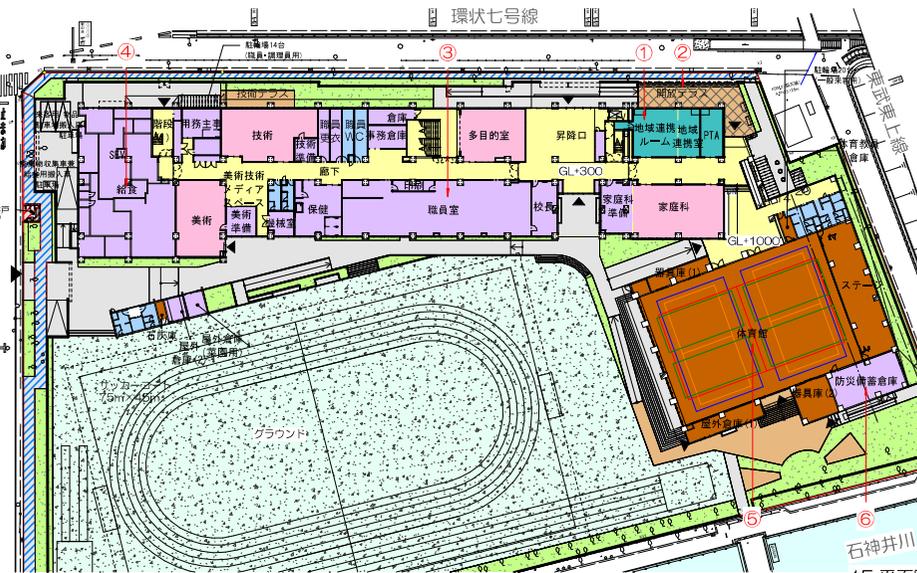
- ①教科教室、HB  
採光と通風を確保
- ②北側の教科教室  
2部屋に分割し、少人数教室として利用可能
- ③メディアスペース  
教室との一体的利用や、生徒の居場所として活用



3F 平面図

【3F】

- ①教科教室、HB  
採光と通風を確保
- ②北側の教科教室  
2部屋に分割し、少人数教室として利用可能
- ③メディアスペース  
教室との一体的利用や、生徒の居場所として活用
- ④メディアセンター上部  
吹抜となり、階段を設置して動線を確保



1F 平面図

【1F】

- ①地域開放諸室  
東側にまとめ、生徒と地域開放との動線を分離
- ②地域開放テラス  
環七沿いに配置し、地域拠点とする
- ③職員室  
グラウンドに面し、昇降口にも近接
- ④給食室  
西側に配置し、搬入動線に配慮
- ⑤体育館  
地域開放や災害時の避難所を想定
- ⑥備蓄倉庫  
搬入経路も確保しつつ、災害時を想定して体育館に隣接

## 立面計画の考え方

(校舎部分)

- ・校舎は 柱・梁・壁を活用することで日射削減に努め、効率的なファサードとします。
- ・校舎南北面は単調で長大な壁とならないよう、半コマ毎に設ける壁により分節化し、再生木や緑のカーテンにより周辺環境に調和した計画とします。
- ・規模の大きい体育館や武道場は校舎と分節することにより近隣への圧迫感を低減した計画とします。
- ・仕上はメンテナンスを考慮した仕様とし、景観計画等に応じた色彩計画とします。



北側立面図



西側角イメージ図



南側立面図

### ■ 立面計画の考え方

(体育館部分)

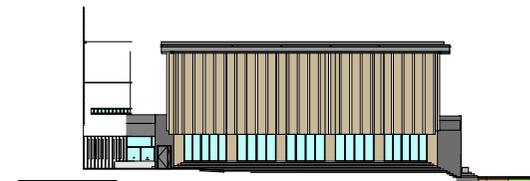
- ・体育館は開口やリブのある壁面等、意匠を変えることでボリューム感を低減し、周辺環境に調和した計画とします。
- ・ステージ側にも開口を設けることで東側道路への防犯対策となる計画とします。
- ・景観形成重点地区であることから仕上げや、色彩は桜並木の緑や石神井川の水の色彩と調和した落ち着いた計画とします。



南側立面図



東側立面図



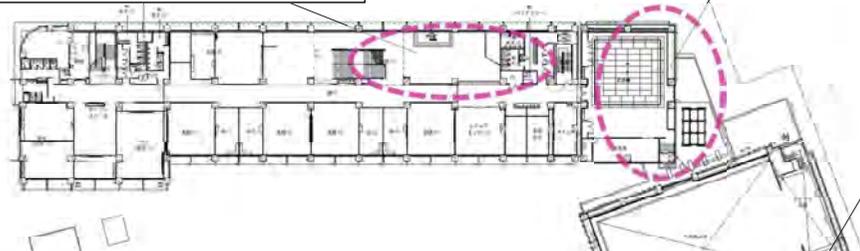
西側立面図

「教員・生徒・地域の学びと交流の場」となることを目指す。公共施設として周辺への寄与だけでなく、地域の人々も日頃から学校を利用することで、より親しみやすく身近な施設となり、地域の力が学校に還元されやすい施設計画とする。

- 学校運営時は生徒・教員の学びと活動の場として、休日等には地域の人々の生涯学習の場として地域開放することを想定。
- 開放時にもシャッター等でセキュリティ区画を行い、管理運営しやすい計画とする。

【メディアセンター】

将来的な地域開放に対応できる設え



【武道場】

部活動や地域のクラブ活動だけでなく、小規模のホールとして地域の集会所や発表などにも利用を検討。

【開放テラス】

地域開放諸室と連携して、屋外イベント時に活用（マルシェなど）。また地域開放エリアにアクセスする前広場として、地域とのつながりのばを創出。

【多目的室】

外部からアクセスしやすい配置を活かして、講演会や発表会、校外の人々も参加しやすいイベントスペースとして活用を検討。

2階平面図

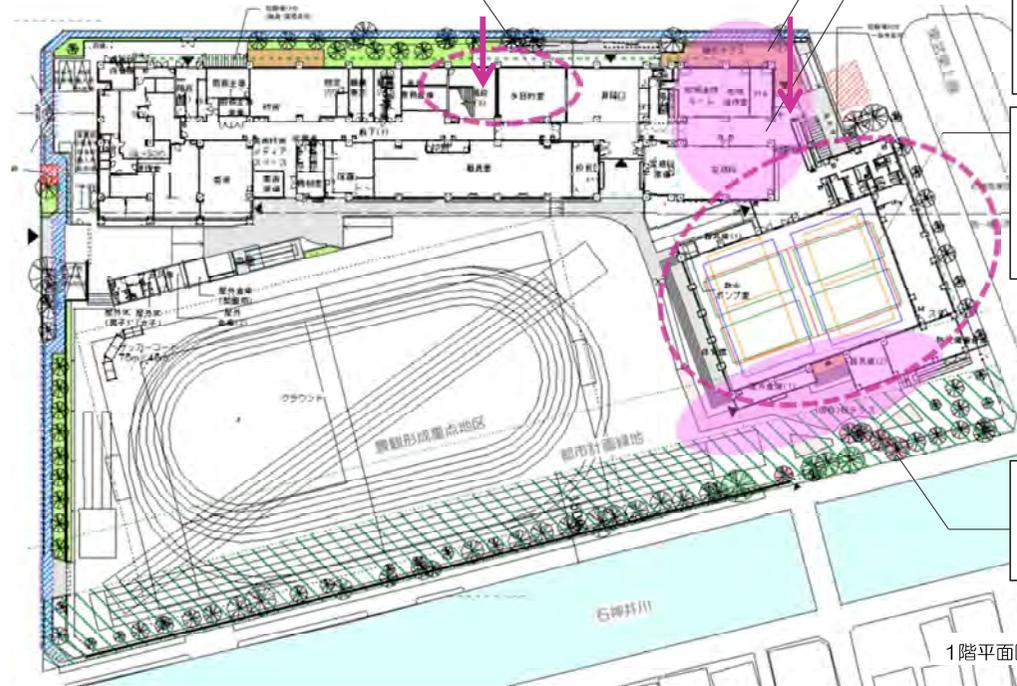
【地域開放諸室】

保護者の学校支援活動も含め、地域の集会スペースとなる。地域連携ルームでは簡単な音楽活動もできる仕様とする。

【体育館】

部活動や地域のクラブ活動への利用を想定。バリアフリートイレや授乳室等も整備して、多様な人々が快適に活動できる場として整備。

図：地域テラスのイメージ



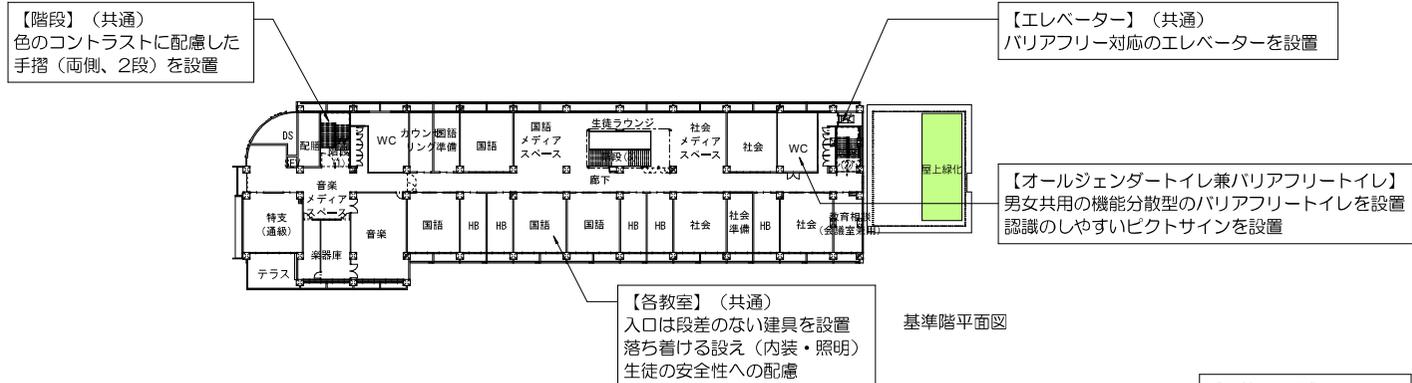
（仮称）桜テラス

石神井川沿いの桜の景観を楽しめる地域の憩いの場を創出。

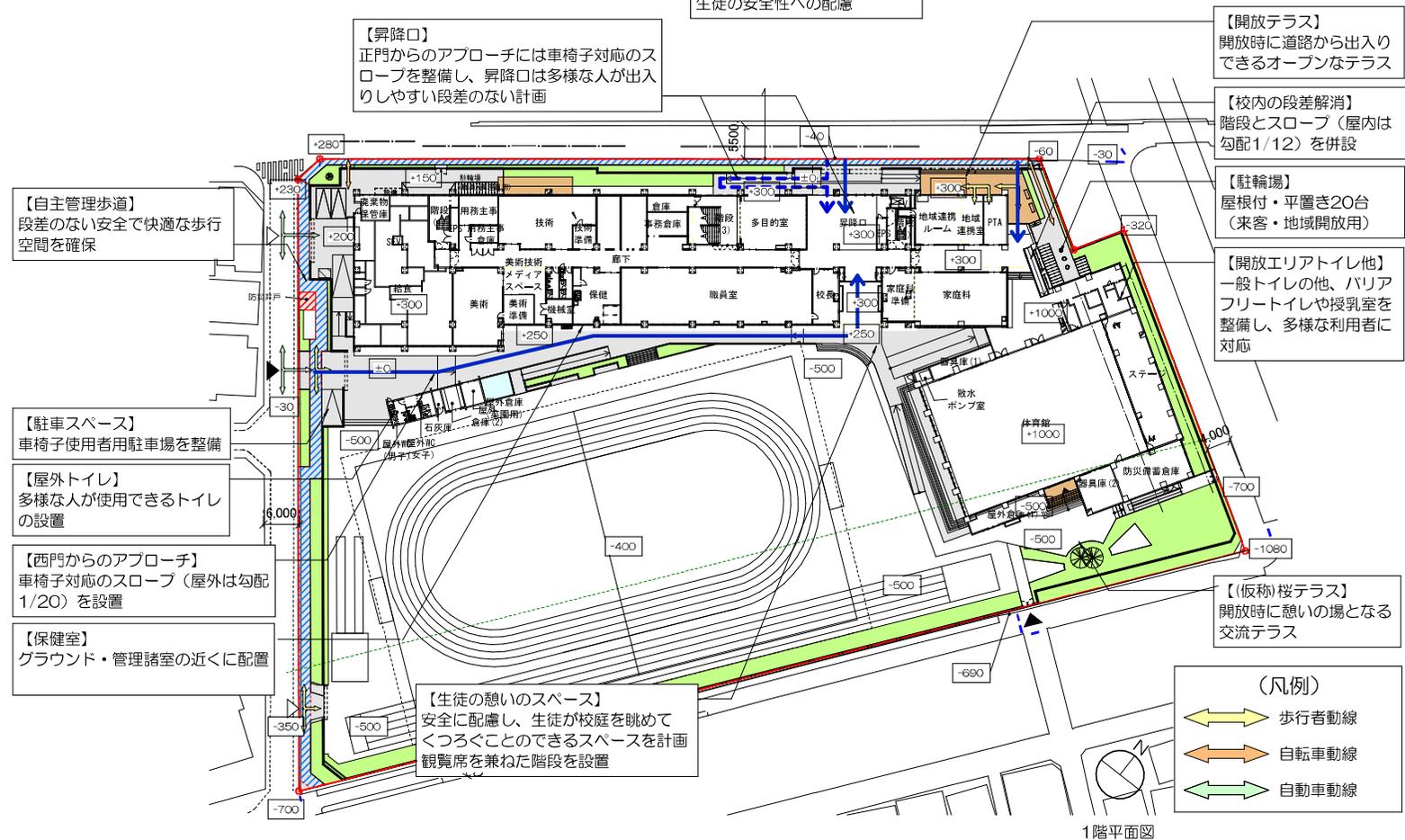
1階平面図

「すべての人が心地よく活動できる学校」を目指し、以下の点に配慮した施設計画とする。

- 適切な動線計画、段差処理によるアクセスのしやすさ
- 利用しやすいコア計画（分散された校舎内のトイレ位置、昇降口からアクセスしやすいEV位置）
- バリアフリートイレ、オールジェンダートイレ、オールジェンダー用更衣室（和室兼用）、授乳室の整備
- 地域開放エリアをまとめて、管理のしやすさに配慮



基準階平面図



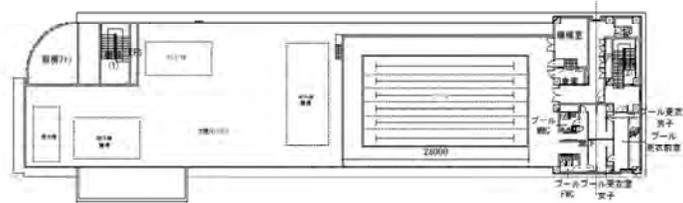
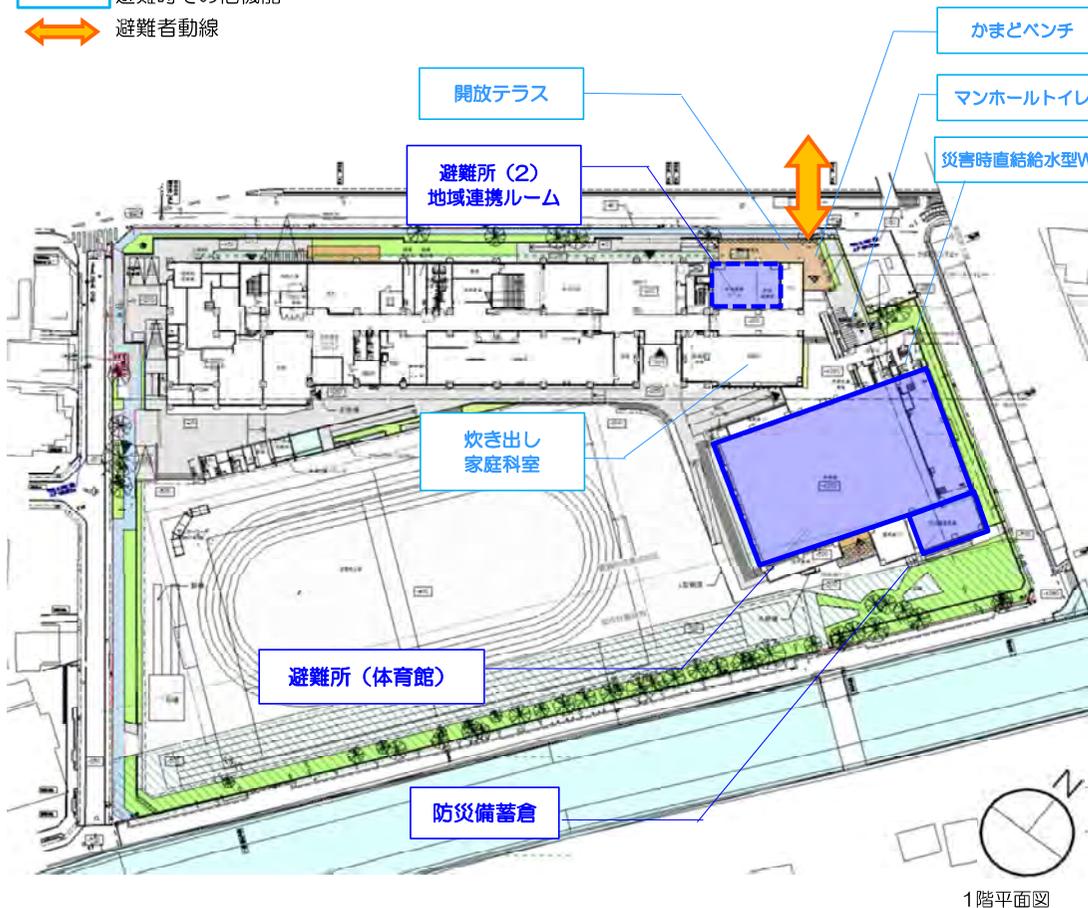
1階平面図

災害対策

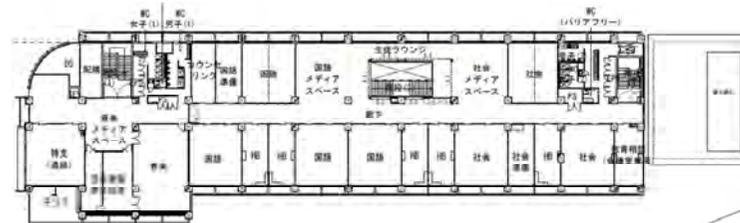
- ・災害時の避難場所として安全で広々とした体育館や防災備蓄倉庫を計画します。
- ・体育館の他に避難所（2）～（4）の諸室を設け、多様な避難者に対応した計画とします。
- ・1階家庭科室付近にテラスやかまどベンチを設け、炊き出し可能な計画とします。
- ・マンホールトイレや災害時直結給水型WCを計画します。
- ・停電時に使用できる太陽光発電設備システムの自立運転コンセントを計画します。
- ・体育館の一部の照明を発電機接続時に利用できるよう計画します。

凡例

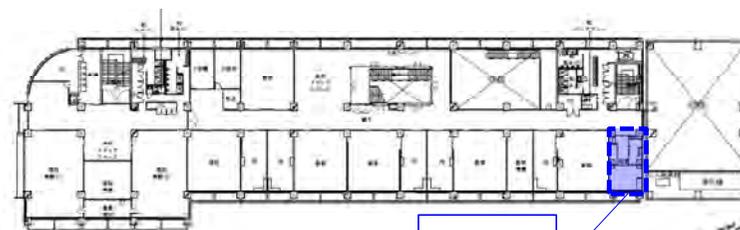
- 避難所
- 避難時その他機能
- ⇄ 避難者動線



5階平面図



4階平面図



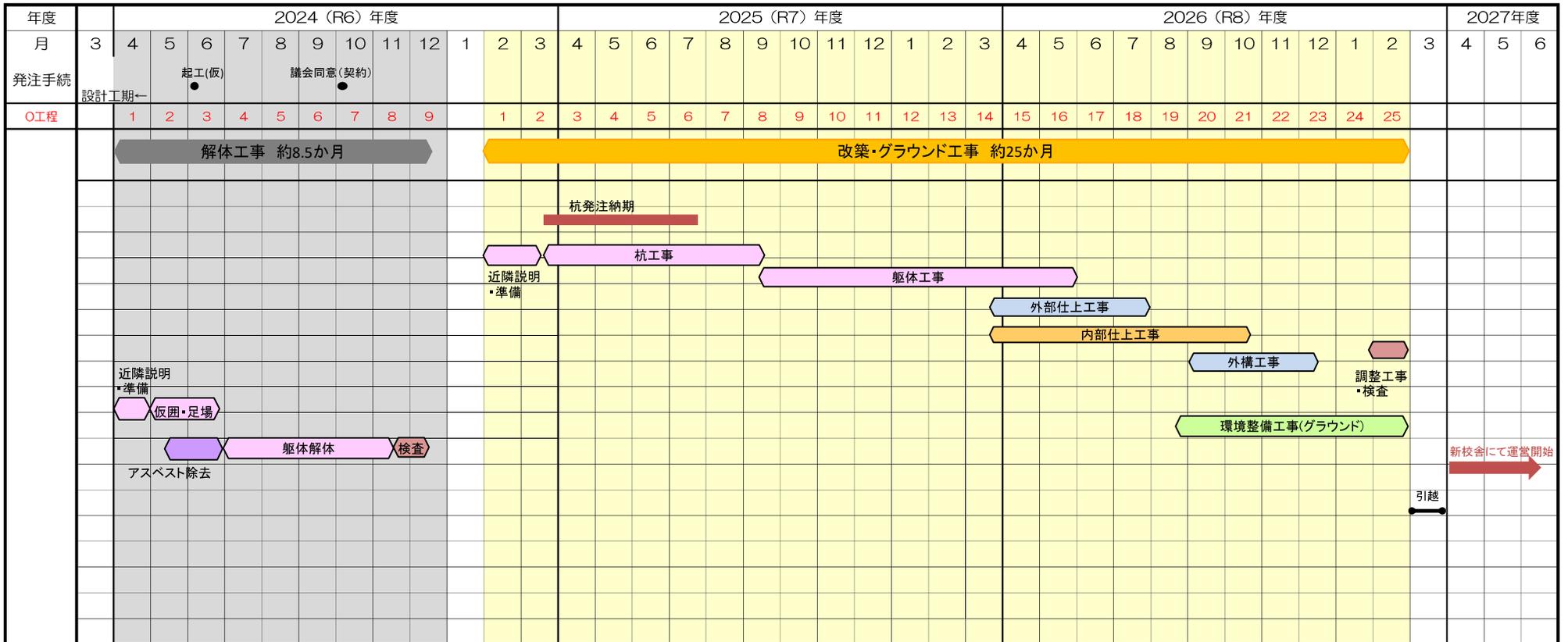
3階平面図



2階平面図

工事工程表(案)

前提: 4週8休



## 志村小学校・志村第四中学校小中一貫型学校の改築基本設計の策定について【説明資料】

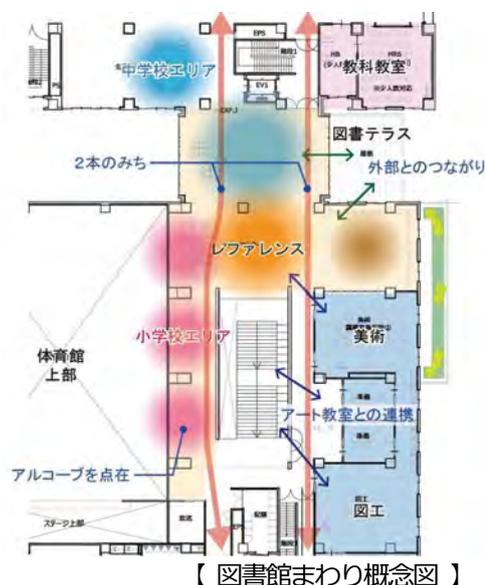
「いたばし魅力ある学校づくりプラン」前期計画第2期対象校である志村小学校については、現在地での改築が困難であることから、小中一貫教育推進の視点を取り入れ、志村小学校と志村第四中学校を施設一体の小中一貫型の学校として、志村第四中学校の敷地に整備を進めていくこととなった。

整備事業を進める上での基本的な考え方や指針を示した基本構想・基本計画を令和4年7月に策定し、その後、委託事業者の協力を受け、設計を進めていた。この度、基本設計図書をまとめたので報告する。

### 1 設計コンセプト

#### 1 小中をつなぐ「本の森」学校図書館

- 小学校と中学校の間全体が学校図書館  
学校と図書館を2本のみちでつなぐ
- いつでも本に触れるオープンな図書館  
様々な本との出会いの場を工夫
- 教科との連携、移動書架でのサービス  
「絵本のまち板橋」としてアート系教室と連携



#### 2 インクルーシブ教育への展開

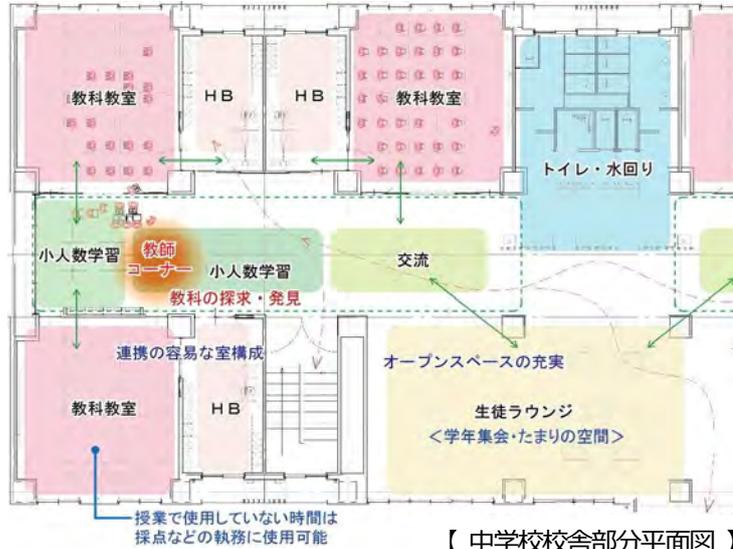
- 異学年や地域とつながる特別支援学級の配置  
ものづくりや運動を通じての交流
- 情緒障害に配慮した「静と動」のゾーニング  
音に配慮した落ち着いた環境づくり
- オールジェンダーに配慮したトイレ  
男女共用個室トイレを複数設置

### 3 「主体的な学び」を育む教育空間

- 教科センター  
を進化させた中学校舎
- 学年ごとの  
オープンスペースの充実
- 各学年や教科ごと  
に教師コーナーを配置



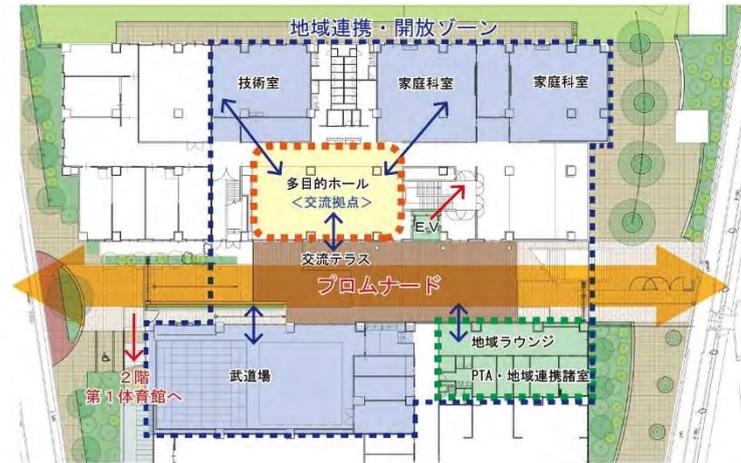
【生徒ラウンジイメージ】



【中学校校舎部分平面図】

### 4 「地域連携・地域防災」の拠点となるプロムナード

- 地域ラウンジ、特別教室を  
配置した地域開放施設の充実
- 中学生、小学生、地域の交流  
ができる日常のふれあいの場
- 2階体育館に階段・EVでアクセ  
スでき、防災時の拠点とな  
る安心できる避難所



【プロムナード概念図】

### 5 教職員の活動場所の充実

- 教職員の2つの拠点「職員室」と「教師コーナー」を設置
- 職員室のフリーアドレス化による執務空間と交流空間の充実
- 相談、執務、教材作成などが行える教科教室に近接した「教師コーナー」

### 6 ZEB化と環境教育を両立した校舎

- ZEB化を実現する高断熱、低負荷の建築空間
- 配管ロスを極小化した屋内外の機器配置
- 分かりやすく自然に学べる環境教育の実現

## 2 建築計画概要

### 1) 計画規模

|             |                       |         |
|-------------|-----------------------|---------|
|             | 校舎棟                   |         |
| 高さ          | 約 24.3m               |         |
| 階数          | 5                     |         |
| 耐火性能        | 耐火構造                  |         |
| 構造種別        | 鉄筋コンクリート造<br>一部 鉄骨造   |         |
| 基礎          | 既成コンクリート杭             |         |
| 敷地面積        | 13,833 m <sup>2</sup> |         |
| 建築面積 / 建ぺい率 | 4,685 m <sup>2</sup>  | 34.16%  |
| 床面積 / 容積率   | 17,804 m <sup>2</sup> | 129.83% |

※今後の検討等により、数値に変更が生じる可能性があります。



【配置ゾーニング概念】

### 2) 配置計画の考え方

考え方1：通学の安全性や敷地の有効活用に配慮した建物計画

- 敷地中央に校舎、北側にグラウンド、南側に広場を配置
- 日常的な給食搬入や来客用の車両動線は西側道路側からとし、歩車分離  
※災害時やイベント開催時は、グラウンドや広場への乗入れが可能

考え方2：「地域連携／地域防災」の拠点となるプロムナード

- 敷地西側と東側をつなぐ「プロムナード」
- 交流テラスや多目的スペースを設け、子どもや地域の活動、災害時にも利用
- ダンスやスタジオなどの利用もできる武道場や、ものづくりの拠点として地域利用も可能な家庭科室、技術室と隣接

考え方3：「地域の魅力」を高める環境整備

- 出井川緑道、敷地西側の並木道、プロムナードを緑の景観でつなぐ計画
- 周辺住宅に調和する低層型ボリューム



【配置図兼1階平面図】

### 3 平面計画

#### ゾーニング計画の考え方

考え方1 小中をつなぐ「本の森」  
学校図書館

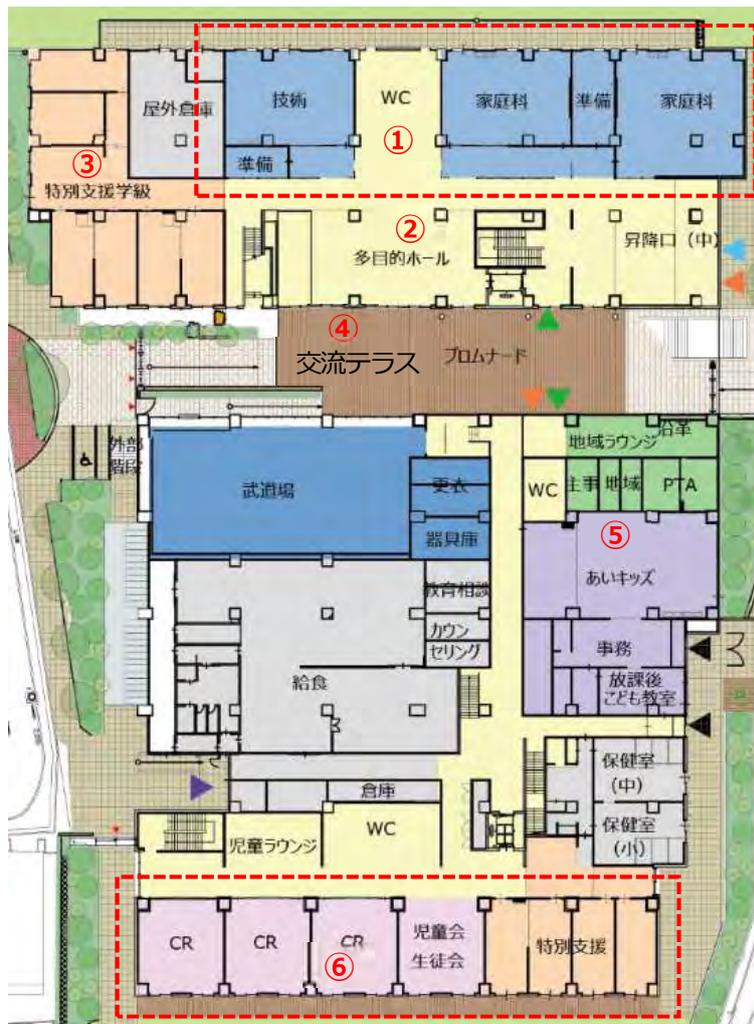
- 校舎中央部にメディアセンターを配置
- 小中をつなぐ部分全体が本に触れられる空間

考え方2: インクルーシブ/ジェンダーへの配慮

- 異学年や地域とつながる1階に特別支援学級（固定）を配置
- オールジェンダーに配慮したトイレ

考え方3: 「主体的な学び」を育む教育空間

- 学年や教科のまとまりへの配慮
- 学年や教科ごとのオープンスペースの充実



【1階平面図】

#### ■凡例

|  |   |
|--|---|
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#ffffcc; border:1px solid black;"></span> : 共用部   | <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#ccccff; border:1px solid black;"></span> : あいキッズ/放課後子ども教室 |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#ffccff; border:1px solid black;"></span> : 児童エリア | <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#ffcc99; border:1px solid black;"></span> : 特別支援教室         |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#ccffff; border:1px solid black;"></span> : 生徒エリア | <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#ccffcc; border:1px solid black;"></span> : 地域ゾーン          |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#ccccff; border:1px solid black;"></span> : 特別教室  | <span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#cccccc; border:1px solid black;"></span> : 管理ゾーン          |

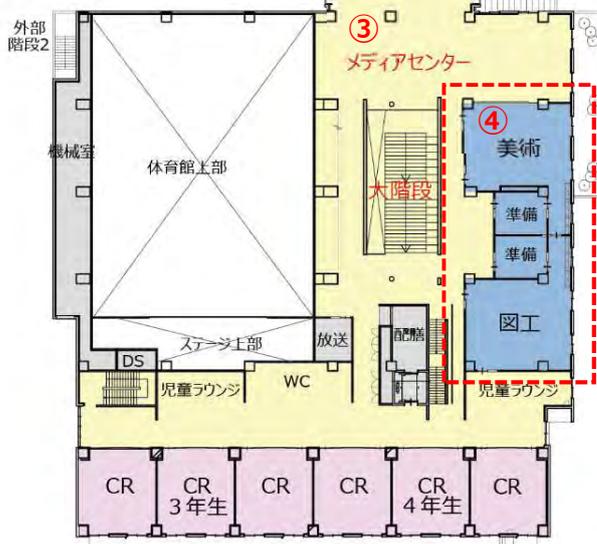
#### 各階平面

[1階]

- ①【家庭科/技術室】  
「つくる」教科ゾーンを形成
- ②【多目的ホール】  
地域や学びのエリアの児童生徒との交流スペース
- ③【特別支援学級（固定）】  
つくることやスポーツ活動を通して交流を図りやすい計画
- ④【交流テラス】  
児童生徒の活動時はゲートを閉じて安全を確保できる計画
- ⑤【あいキッズ】  
森の広場や体育館、交流テラスにアクセスしやすい計画
- ⑥【1年生、特別支援学級（固定）】  
森の広場に上足で直接外へ出られ、また保健室に隣接



【2階平面図】



【3階平面図】

【2階】

- ①【国語/社会】  
日本を知る教科ゾーンを形成
- ②【職員室】  
地域や児童生徒との交流スペースを計画
- ③【第1体育館】  
地域開放や災害時の避難所利用を想定  
式典利用できるステージを設置
- ④【特別支援教室】  
校務センターと近接した位置に計画

■凡例

- 共用部
- 児童エリア
- 生徒エリア
- 特別教室
- あいキッズ/放課後子ども教室
- 特別支援教室
- 地域ゾーン
- 管理ゾーン

【3階】

- ①【英語/社会】  
世界を知る教科ゾーンを形成
- ②【社会とメディアセンター】  
調べ学習の多い社会とメディアセンターを近接
- ③【メディアセンター】  
児童生徒の移動の中心に配置  
いつでも本に触れるオープンな図書館
- ④【美術/図工】  
メディアセンターに隣接したアートスタジオとなる美術室、図工室を配置



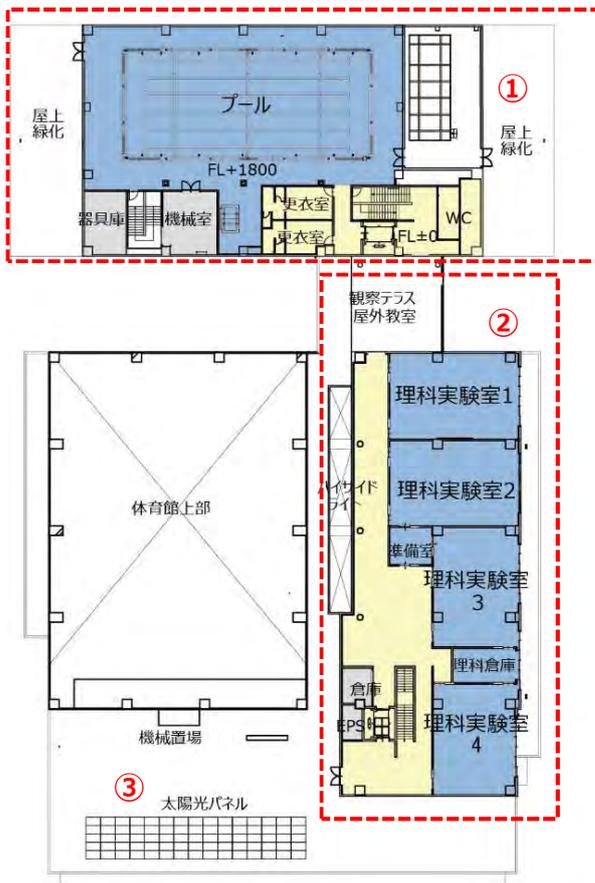
【4階平面図】

[ 4階 ]

- ①【数学/理科】  
科学を知る教科ゾーンを形成
- ②【音楽室】  
音に配慮し、アリーナに併設
- ③【第2体育館】  
中学生利用を想定したアリーナを計画
- ④【5, 6, 7年生】  
同一階にまとめ、中一ギャップを軽減

■凡例

- 共用部
- 児童エリア
- 生徒エリア
- 特別教室
- あいキッズ/放課後子ども教室
- 特別支援教室
- 地域ゾーン
- 管理ゾーン



【5階平面図】

[ 5階 ]

- ①【屋内プール】  
周囲からの視線に配慮  
小中にて利用を可能とする計画
- ②【理科実験室】  
屋外に観察テラス（屋根付）を設置
- ③【太陽光パネル】  
発電容量 30kw

立面計画の考え方

環境配慮【ZEB】 + 街並み形成【近隣】

考え方1：【ZEB】絞られた開口+日射抑制

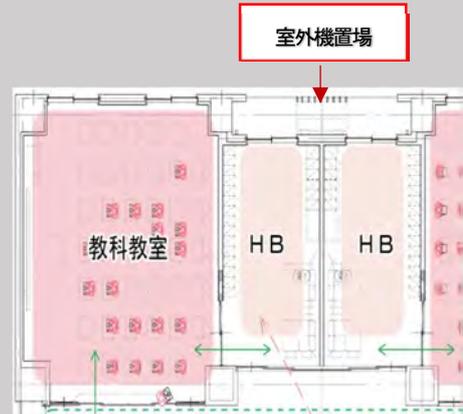
- 日射抑制
- 断熱性向上

考え方2：【ZEB】室外機を教室近くに設置

- 配管ロスによる ZEB 化

考え方3：【近隣】小さく見せるデザイン

- 近隣住宅地への圧迫感を抑える
- ボリュームを分節化するデザイン



【北西面】

北面

- 教室間にバルコニー設置
- 室外機目隠し  
⇒ルーバー+壁面緑化



【東面】

西面

- 近隣住宅配慮 開口部 少
- ボリュームを分節するデザイン

東面

- 緑道と一体的になる緑のデザイン
- 緑のカーテンを設置
- 地域ゾーンは、ガラススクリーンとし、活動の見える化



【南東面】

南面

- 教室前に室外機置場兼用の庇
- 室外機目隠し⇒ルーバー

## 5 工事工程表

| 年度   | R6         | R7               | R8          | R9           | R10 | R11        |
|------|------------|------------------|-------------|--------------|-----|------------|
| 工事   |            | ← 改築工事・プール解体工事 → |             | ← 既存校舎解体工事 → |     | ← 環境整備工事 → |
| 中学校  | 着工▶        | 既存校舎利用           | 引越          | 新校舎利用        |     | ◀ 工事完了     |
| 小学校  |            |                  | 既存校舎利用      | R9年度以降引越     |     |            |
| 屋外施設 | ← 校庭使用不可 → |                  | ← 南側広場使用可 → |              |     |            |

区立志村小学校・区立志村第四中学校小中一貫型学校改築 基本設計図書

---

令和5年6月

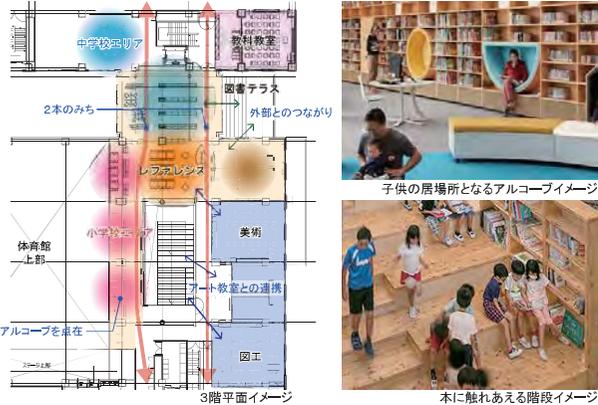
松田平田設計・教育施設研究所 設計共同企業体



南東側から見た鳥瞰イメージ

## 1 小中をつなぐ「本の森」学校図書館

- ・ **学校の中心に図書館を計画** : 学校と図書館を2本の道でつなぐ
- ・ **いつでも本に触れるオープンな図書館** : 様々な本との出会いの場を工夫
- ・ **教科との連携、移動書架でのサービス** : 絵本のまち板橋としてアート教室と連携



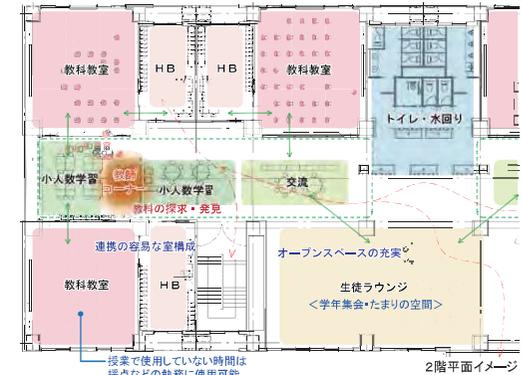
## 2 インクルーシブ教育への展開

- ・ **通常級や地域とつながる特別支援学級** : ものづくりや運動を通じての交流
- ・ **情緒障害に配慮した「静と動」のゾーニング** : 音に配慮した落ち着いた環境づくり
- ・ **オールジェンダーに配慮したトイレ** : 男女共用個室トイレを複数設置



## 3 「主体的な学び」を育む教育空間

- ・ **教科センターを進化させた中学校舎**
- ・ **学年ごとのオープンスペースの充実**
- ・ **各学年や教科ごとに教師コーナーを配置**



## 4 「地域連携・地域防災」の拠点となるプロムナード

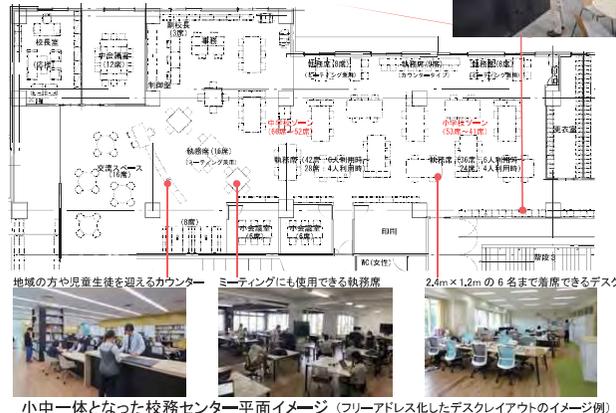
- ・ **地域開放施設の充実** : プロムナードに面して地域ラウンジ・特別教室を配置
- ・ **日常のふれあいの場** : 中学生 + 学びのエリアの小学生 + 地域が交流
- ・ **防災時の拠点、安心できる避難所** : 2階体育館に階段・EVでアクセス



## 5 教職員の活動場所の充実

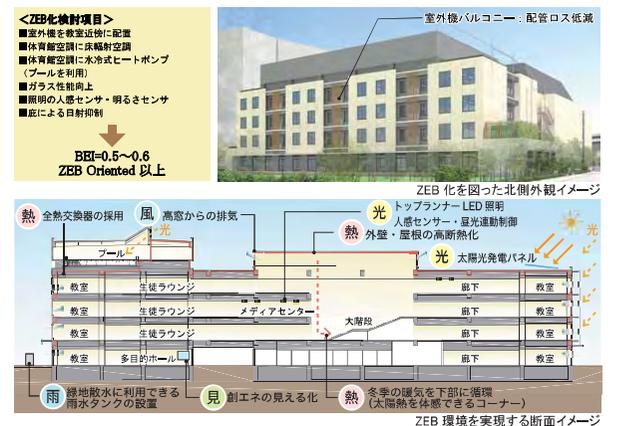
- ・ **教職員の2つの拠点「職員室」「教師コーナー」を用意**
- ・ **職員室 フリーアドレスの執務環境と交流空間の充実**
- ・ **教科教室に近い「教師コーナー」で相談/執務/教材作成**

個人の荷物をしまおうことができる  
パーソナルロッカー



## 6 ZEB化と環境教育を両立した校舎

- ・ **ZEB化を実現する高断熱、低負荷の建築空間**
- ・ **配管ロスを極小化した屋内外の機器配置**
- ・ **分かりやすく自然に学べる環境教育の実現**



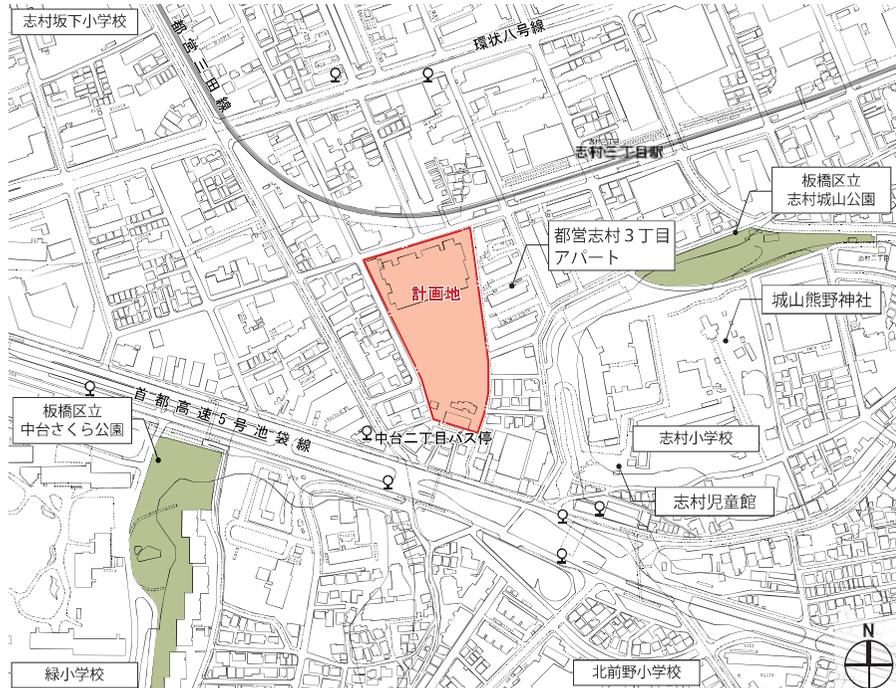
【敷地概要】

敷地情報

|        |  |
|--------|--|
| 住居表示   | 東京都板橋区志村3丁目15番1号   |
| 地名地番   | 東京都板橋区志村3丁目33番1号他12筆   |
| 都市計画区域 | 市街化区域  |
| 用途地域   | 第一種住居地域  |
| 高度地区   | 第二種高度地区、最高限度30m  |
| 防火地域   | 準防火地域  |
| 景観計画区域 | 一般地域   |
| 日影規制   | 4h,2.5h/4m   |
| 敷地面積   | 約13,833.04㎡ ※敷地測量中(23.06.19時点)   |
| 建蔽率    | 60%  |
| 容積率    | 200%   |
| 絶対高さ   | 30m以下(地区計画)  |
| 道路幅員   | 北側：区道 認定幅員6m (基準法42項1号道路)<br>西側：区道 認定幅員6m (基準法42項1号道路)<br>東側：隣地 出井川緑道 (暗渠)<br>南側：隣地 戸建住宅 |

敷地周辺情報

計画敷地は都営三田線志村三丁目駅の南側に位置する。敷地北側を東京都道311号環状八号線、南側は首都高速5号池袋線、東側は出井川緑道が通る敷地である。



都市計画情報

■都市計画図(Ⅰ)用途地域、建蔽率、容積率、高度地区、防火地域、日影規制など



■都市計画図(Ⅱ)都市計画道路、地区計画

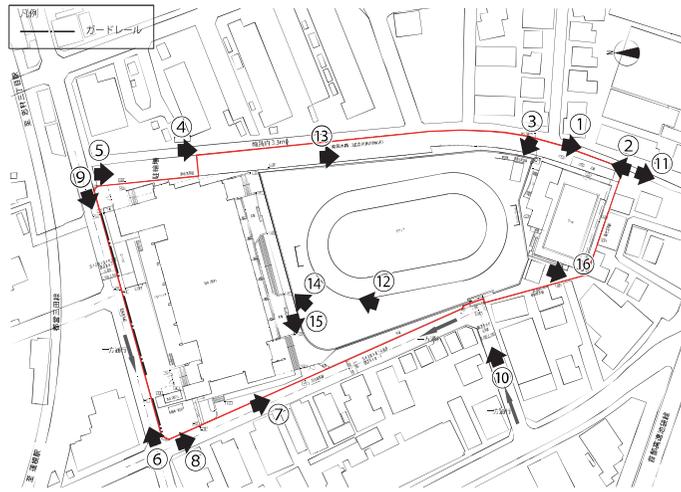


4) 防災条件

計画敷地は、「荒川氾濫時の洪水ハザードマップ」(荒川水系荒川洪水浸水想定区域図H28年版より掲載72時間雨量632mmを想定)では、想定される浸水深さが3~5mである。



【敷地現況】



現況写真キープラン S=1:2000



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬



⑭



⑮



⑯

## 【建築計画概要】

### 計画概要・配置計画の考え方

#### 1) 計画規模及び既存校舎面積

| 棟名称    | 校舎棟       |        |        | 既存校舎<br>(志村四中) | 既存校舎<br>(志村小) |          |
|--------|-----------|--------|--------|----------------|---------------|----------|
|        | (北棟)      | (南棟)   | 計      |                |               |          |
| 高さ     | 約23.4m    | 約24.3m | -      | -              | -             |          |
| 階数     | 5         | 5      | -      | 4              | 3             |          |
| 耐火性能   | 耐火構造      |        |        | -              | -             |          |
| 構造種別   | RC造一部S造   |        |        | RC造            | RC造           |          |
| 基礎     | 既成コンクリート杭 |        |        | -              | -             |          |
| 建築面積   | 約1555㎡    | 約3130㎡ | 約4685㎡ | -              | -             |          |
| 建蔽率    | 約34%      |        |        | -              | -             |          |
| 床面積(㎡) | R階        | -      | -      | 98,17          | 79,47         |          |
|        | 5階        | 860    | 815    | 1,675          | -             |          |
|        | 4階        | 1,300  | 2,768  | 4,068          | 1,969,65      |          |
|        | 3階        | 1,300  | 2,047  | 3,347          | 1,580,03      |          |
|        | 2階        | 1,300  | 2,966  | 4,266          | 1,793,16      |          |
|        | 1階        | 1,540  | 2,908  | 4,448          | 1,817,81      |          |
|        | 地下1階      | -      | -      | -              | 1,263.76      | -        |
|        | 合計        | 6,300  | 11,504 | 17,804         | 8,522.58      | 5,237.28 |
| 容積率    | 約130%     |        |        | -              | -             |          |

※今後の検討・行政協議等により、数値に変更が生じる可能性があります。

#### 2) 配置計画の考え方

##### (1) 通学の安全性や敷地の有効活用に配慮した建物配置

- 敷地中央に校舎を集約して配置することで、北側に整形のグラウンド/南側に森の広場を計画し、敷地の有効活用を図ります。
- 敷地内の車両乗り入れは、給食搬入や来客用の車両動線は西側道路側に限定し、災害時等は北側グラウンドや南側広場への乗り入れ可能な計画とし、歩車分離に配慮します。

##### (2) 「地域連携/地域防災」の拠点となるプロムナード

- 西側自主管理歩道と東側出井川緑道をつなぐ「プロムナード」を計画し、日常のふれあいの場とします。
- 交流テラス（一部ポレティ空間）を設け、子供たちや地域の活動に加え、災害時に利用しやすい計画とします。
- プロムナードを中心にダンススタジオとしても利用できる武道場や、ものづくりの拠点として地域利用も可能な家庭科室/技術室が隣接します。

##### (3) 「地域の魅力」を高める環境整備

- 出井川緑道、敷地西側の並木道、プロムナードを緑の景観でつなぐ計画とします。
- 周辺住宅に調和する低層型ボリュームとします。



## 【平面計画(ゾーニング/動線)】

### ■ゾーニング計画の考え方

(1) 小中をつなぐ「本の森」学校図書館

- ・各フロアからアクセスしやすい3階中央部にメディアセンターを計画します。
- ・いつでも本に触れるオープンな図書館を計画します。

(2) インクルーシブ教育への展開

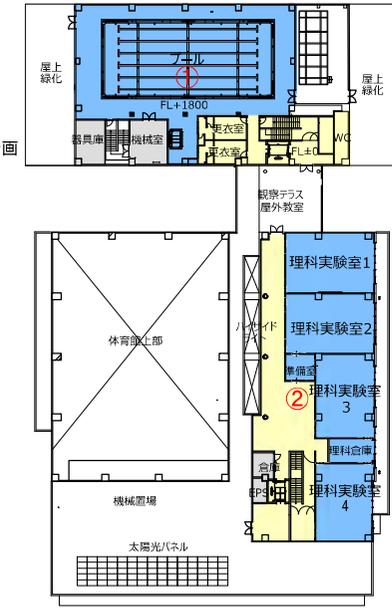
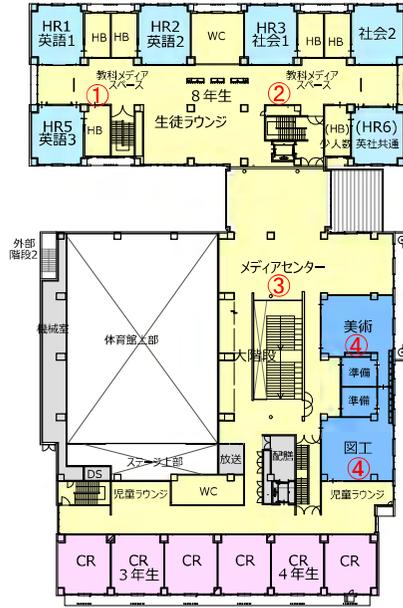
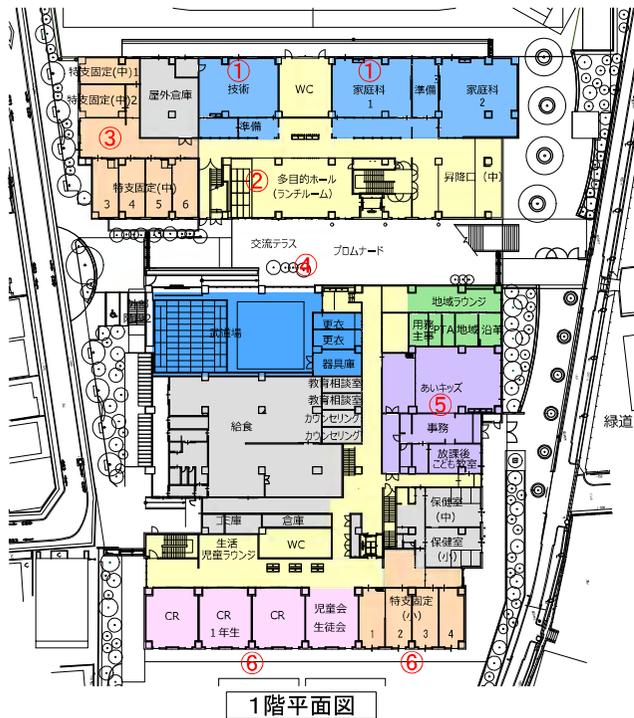
- ・異学年や地域とつながる1階に特別支援教室(固定)を配置します。
- ・オールジェンダーに配慮したトイレを計画します。

(3) 「主体的な学び」を育む教育空間

- ・学年や教科のまとまりに配慮したゾーニング計画とします。
- ・学年や教科ごとのオープンスペースを充実させた計画とします。(各学年や教科ごとに教師コーナーを設置)

<1F>

- ①家庭科/技術: 「つくる」を知る教科メディアスペースを計画
- ②多目的ホール: 地域や学びのエリアの児童生徒との交流スペース
- ③特支固定(中): つくることやスポーツ活動を通して交流を図りやすい計画
- ④交流テラス: 児童生徒の活動時はゲートを開けて安全を確保できる計画
- ⑤あいキッズ: 森の広場や体育館にアクセスしやすい計画
- ⑥小学(1)、特支固定(小): 森の広場に上足で直接出られる計画。保健室に隣接。



<3F>

- ①英語/社会: 世界を知る教科メディアスペースを計画
- ②特に調べ学習と関わりの大きい社会をメディアセンター上部に配置
- ③児童生徒の移動の中心にメディアセンターを配置<小中をつなぐ「本の森」いつでも本に触れるオープンな図書館
- ④絵本のまち板橋に相応しい図書館に隣接してアートスタジオ(美術/図工)を配置

<5F>

- ①屋内プール: 周囲からの視線に配慮。
- ②理科実験室: 小中からアクセスしやすい位置に計画。

<2F>

- ①国語/社会: 日本を知る教科メディアスペースを計画
- ②校務センター: フリーアドレス化した小中連携しやすい計画
- ③第1体育館: 地域開放や災害時の避難所利用を想定式典利用できるステージを設置
- ④特支通級(小)(中): 校務センターから目の行き届き易い位置に計画

<4F>

- ①数学/理科: 科学を知る教科メディアスペースを計画
- ②音楽室: 小中学生が合同練習も可能な計画
- ③第2体育館: 小学校高学年も利用できるスポーツ用アリーナを計画
- ④5/6/7年生を4階にまとめ、中1ギャップに配慮した計画

■凡例

- 黄色: 共用部
- ピンク: 児童エリア
- 水色: 生徒エリア
- 青: 特別教室
- 緑: あいキッズ/放課後子ども教室
- オレンジ: 特別支援教室
- 緑: 地域ゾーン
- グレー: 管理ゾーン

# 【平面計画(ゾーニング/動線)】

## ■動線計画の考え方

### <児童動線>

- 児童用昇降口は2階に設ける計画とし、近接して職員室等を配置し、目の届きやすい計画とします。
- 各学年の教室へは、昇降口から大階段を利用することで、明快な動線とします。

### <生徒動線>

- 昇降口は1階に設ける計画とし、児童用動線と分ける計画とします。
- 各教科教室へは、2つの階段を利用し行き来しやすい計画とします。

### <教職員動線>

- 職員室は2階に設ける計画とし、各教室にアクセスしやすい学校の中央部に配置します。
- 各教科エリアに教師コーナーを計画し、教員の活動場所を作ることで授業準備と生徒の相談対応のしやすさに配慮した計画とします。

### <来校者動線>

- 来校者は2階昇降口を利用する計画とし、職員室の受付にスムーズにアクセスできる計画とします。

### <地域利用者動線>

- 地域玄関は1階プロムナードに面して設け、地域開放のある室は建物中央に集約して計画します。

### <サービス動線1(給食)>

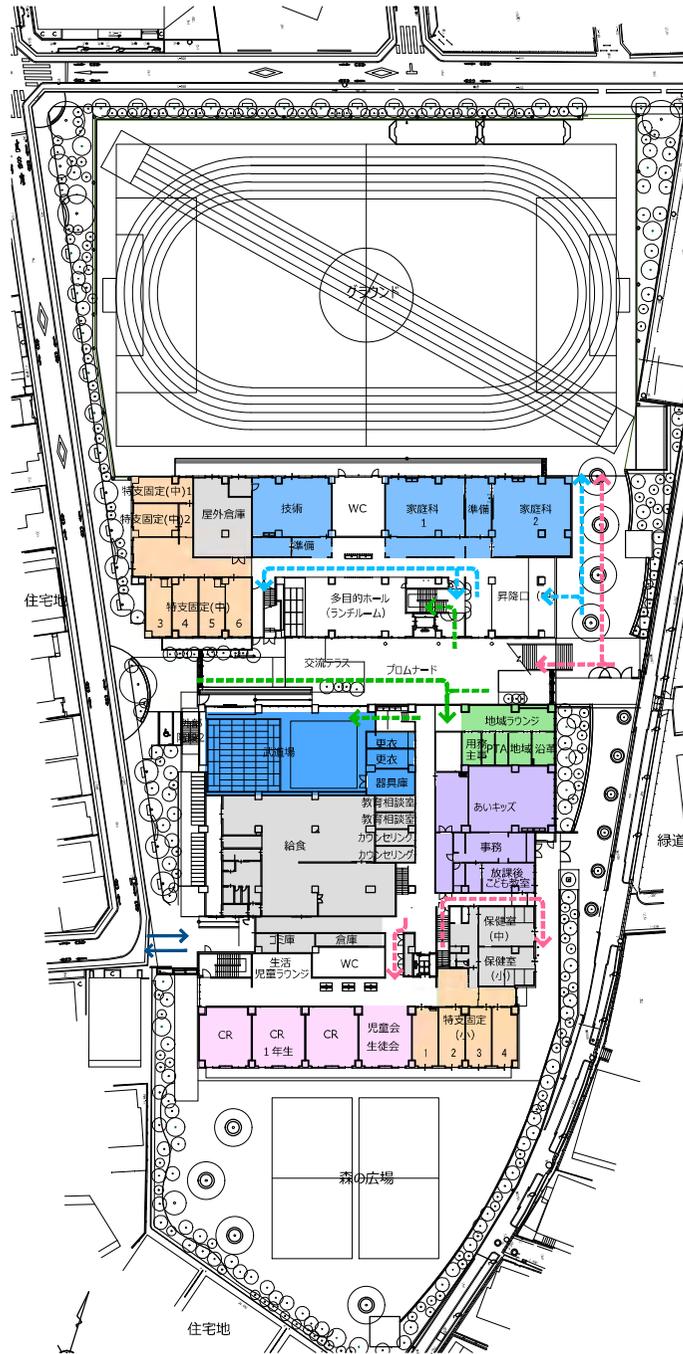
- 給食車両は敷地西側からのアクセスとし、児童生徒動線との歩車分離を図ります。
- 配膳台は職員室に近いEVを使用することで、普通教室への配膳のしやすさに配慮します。

### <サービス動線2(ゴミ収集、備蓄)>

- 車両含む出入口は敷地西側からのアクセスとし、児童生徒動線との歩車分離を図ります。
- ゴミ収集等の動線は、明確に管理用の動線として分離し、児童生徒の日常利用に影響のないように配慮します。

### ■凡例

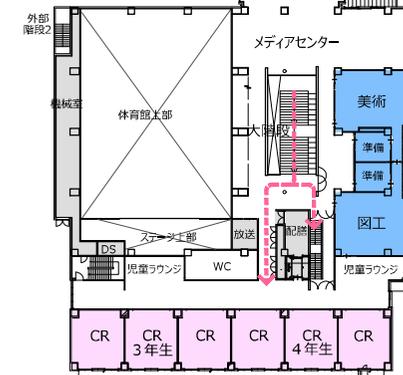
- > : 児童動線
- > : 生徒動線
- > : 地域利用者動線
- > : 車両動線



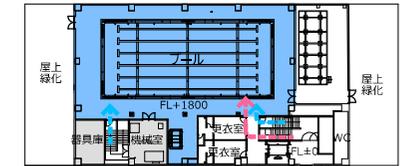
1階平面図



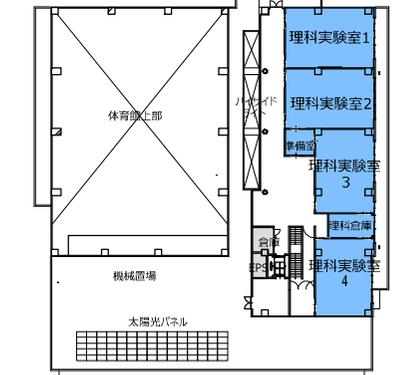
3階平面図



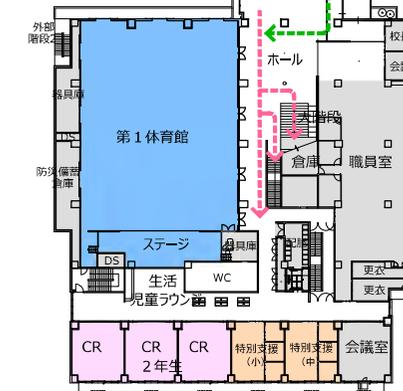
2階平面図



5階平面図



4階平面図



※今後の行政協議によっては、計画内容に変更が生じる可能性があります。

## 【立面計画・外装計画】

外装デザインの考え方

### 環境配慮【ZEB】 + 街並み形成【近隣】

#### 1 【ZEB】絞られた開口 + 日射抑制

- ・日射抑制
- ・断熱性向上

#### 2 【ZEB】室外機バルコニーを教室近くに設置

- ・配管ロスの低減 ⇒ BEI値 約0.05低減
- ・各階室外機バルコニーを計画

#### 3 【近隣】小さく見せるデザイン・4階建てに見せる

- ・近隣住宅地への圧迫感を抑える
- ・住宅スケールに合わせ、ボリュームを分節化するデザイン

- 北面** ホームベースとトイレ前にバルコニーを設置
- ・バルコニーでボリュームの分節化を図る
  - ・室外機目隠しスクリーンとしてルーバー + 壁面緑化を設置
  - ・教室中央の内壁をホワイトボードとし、グループ学習に活用

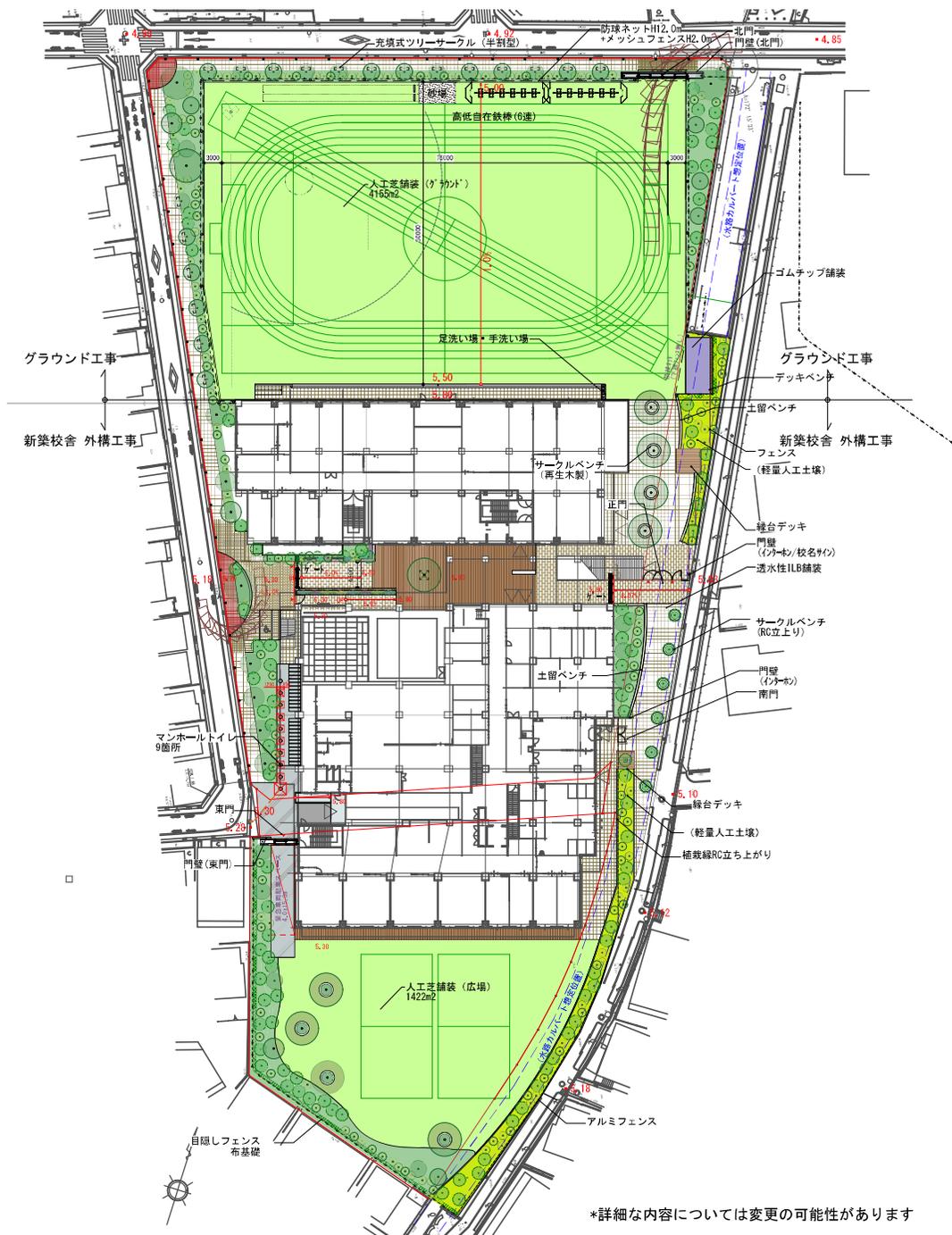
- 西面** 開口部を極力設けない
- ・視線、騒音配慮（戸建て住宅に面する）
  - ・ボリュームを分節するデザイン



- 東面** 緑道と一体的に緑のデザイン
- ・昇降口までのアプローチ空間
  - ・2階職員室を緑のカーテンを設置
  - ・1階地域ゾーンはガラススクリーンとし、外部から活動が見える

- 南面** 教室前に水平庇兼バルコニーを設置
- ・日射遮蔽とメンテナンスバルコニーの機能
  - ・室外機目隠しスクリーンとしてルーバーを設置
  - ・教室中央の内壁をホワイトボードとし、グループ学習に活用





## 6. 外構計画の考え方

### 地域の魅力を高める環境整備

#### 1. 地域ブランドの魅力となる緑の景観をつくります

- ・地域の景観をつくってきた既存樹を可能な限り活かし、景観の歴史を継承します。
- ・新植する樹木は地域に根付く郷土樹種を中心に植樹します。これにより安定した生育や周辺緑地との中継地としての生物ネットワークを構築しやすい環境が生まれます。また枯れや生育不良のリスクの低減にもつながります。
- ・思い出に残る印象的な風景をつくるため花木で季節ごとの風景を演出します。
- ・低木地被類は公園などで使われる耐性が強く市場性の高いものを採用します。
- ・一般的な樹種でも毒性がある樹種、侵略的外来種は採用しない計画とします。

#### 2. 2つの並木とプロムナードと駅前通り

- ・敷地東西の道路沿いには、近隣に寄与するような楽しめる街路樹を選定します。東西で性格が違う樹種とすることで多様性を楽しめる外周路とします。
- ・東西近隣を繋ぐプロムナードには、四季感あふれる植栽計画とします。多種の花や紅葉など一年中違う面を見せる楽しい街路を演出します。
- ・駅前通りには、緑量豊かな歩道空間をつくります。また、防球フェンスが遠目から目立たぬよう東西両角に高木を配置します。

#### 3. 管理しやすく持続可能な植栽計画

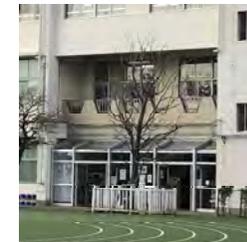
- ・生育が安定しやすい郷土樹種採用のほか、落ち葉清掃に配慮した常緑樹と落葉樹の使い分けや実がなる樹種は実が舗装に落ちないようにするなど樹木配置にも配慮します。
- ・特別な管理を要する樹種は採用しない計画とします。

#### 4. 自然に優しい舗装計画・雨水計画

- ・大部分の舗装を透水性舗装とし、雨水浸透施設とともに舗装材の透水保水の効果として、ゲリラ豪雨による雨水本管への負担軽減や蒸散、浸透による温暖化抑止効果に寄与します。



既存樹：志村四中 シンダレザクラ 移植樹：志村小 タイサンボク  
\*樹木診断の結果、保全、移植ができないこともあります。



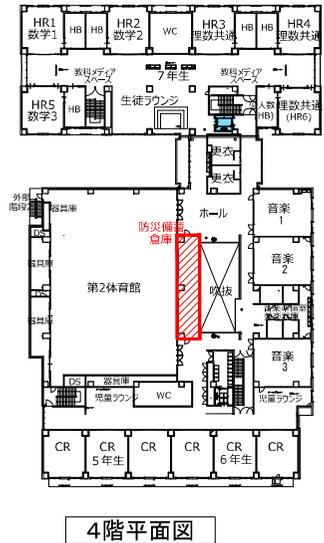
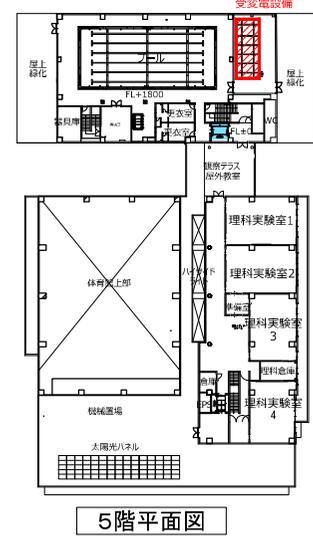
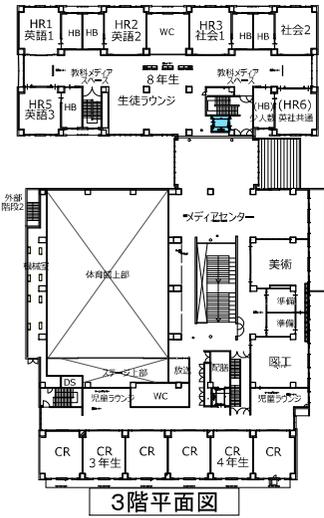
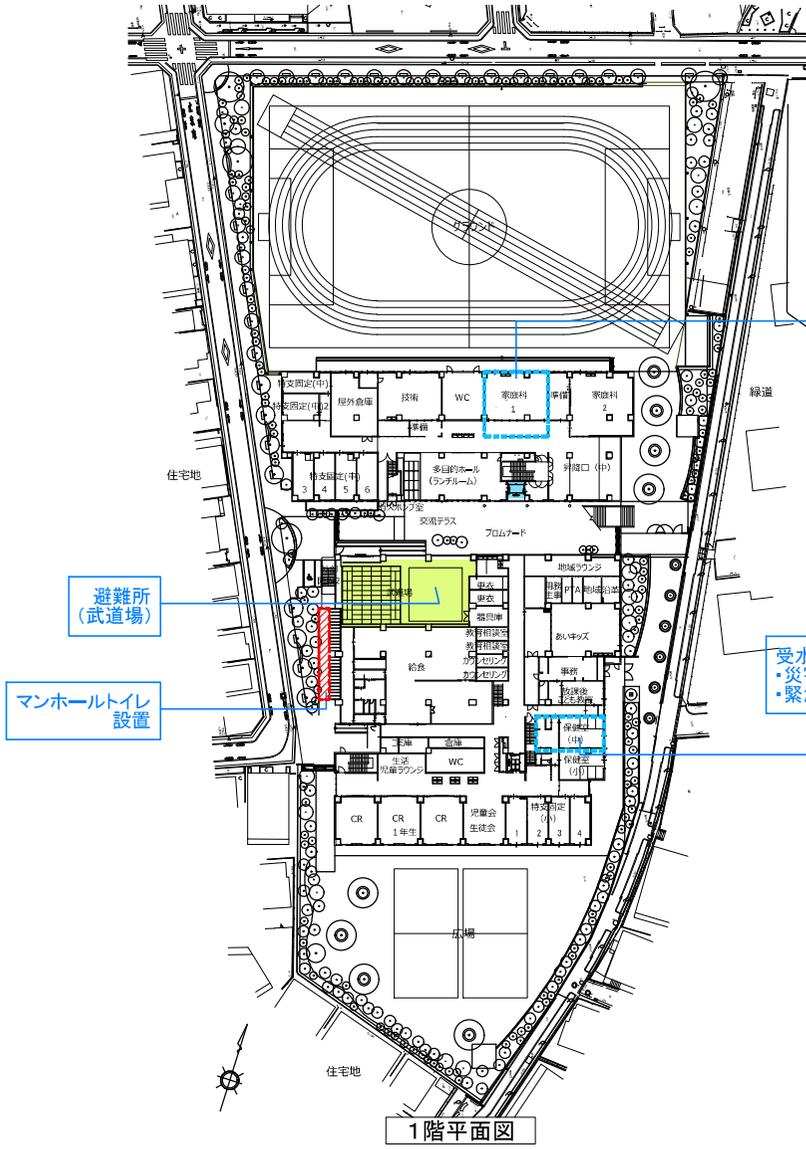
生物ネットワーク  
大きな公園などの緑地から0.5km以内には小さな緑地が点在し、これらを中心点として昆虫や野鳥の移動経路となる

# 避難所としての考え方

## 1) 基本方針

- 避難所となる学校には、避難所の機能維持（電気・給水）をインフラ途絶時に一定期間、一時収容者へ機能維持できる設備を設けます。
- 当該敷地は板橋区洪水ハザード MAP（平成28年5月改定版）により、荒川氾濫時に浸水想定範囲となっています。

- 太陽光発電パネルにより停電時に使用できる太陽光発電設備システムの自立運転コンセントを計画します。（昼間晴天時に使用可能）
- 上水道途絶時でもプール水利用により体育館の男女トイレ及びバリアフリートイレを利用できるようにすると共に、マンホールトイレへの給水可能な計画とします。
- 飲料水は、受水槽に貯留される水を利用します。
- 災害時の避難場所として利用できる体育館(小)及び防災備蓄倉庫/職員室/受水槽/受電設備を水害時も安心な2階以上に計画します。
- 防災備蓄倉庫は避難所となる体育館に隣接して計画します。



※今後の行政協議によっては、計画内容に変更が生じる可能性があります。

